

証券コード 6768
東京証券取引所 プライム上場

株式会社タムラ製作所

2024年3月期 第2四半期決算概要

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

2023年11月10日

TAMURA
Your One and Only Company

本日のご説明

1. 2024年3月期 第2四半期決算概要
2. 2024年3月期 通期業績予想
3. 中期経営計画の推進
4. まとめ

【付録】参考資料



代表取締役社長
兼CEO

浅田 昌弘

1. 2024年3月期 第2四半期決算概要

2024年3月期 第2四半期 損益計算書

- ◆ 価格改定効果や為替影響などにより増収。営業利益は前年同期比増益、予想を大幅に上回る
- ◆ 四半期純利益は、英国子会社の年金バイアウト実施に伴う特別損失の計上により減益

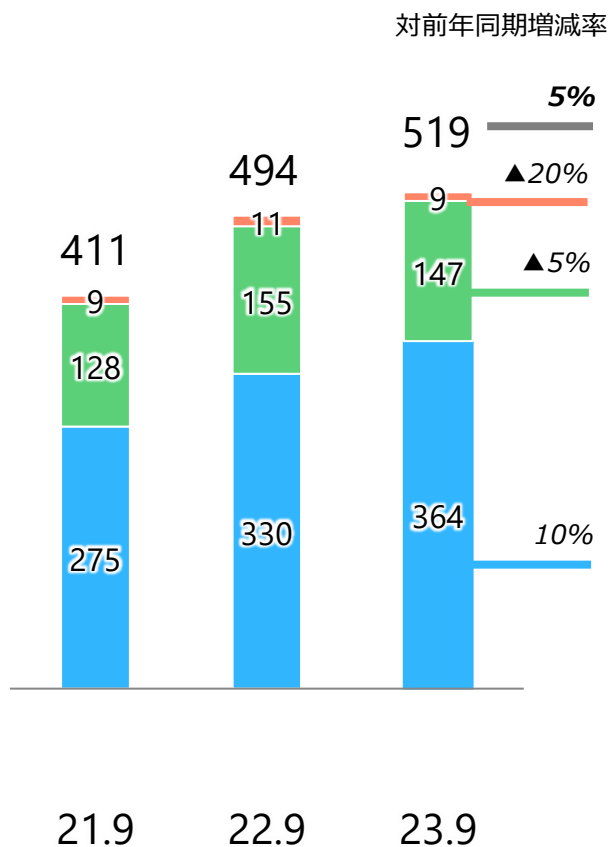
(百万円)	2023.3期	2024.3期			2024.3期	第2四半期累計期間としては 過去最高売上
	2Q実績	2Q実績	増減	増減率 (%)	2Q予想 (注)	
売上高	49,446	51,871	2,425	4.9%	50,200	
売上原価 (売上原価率)	36,781 (74.4%)	38,272 (73.8%)	1,491 (▲0.6pt)	4.1%	-	
販管費 (販管費率)	11,016 (22.3%)	11,874 (22.9%)	858 (0.6pt)	7.8%	-	
営業利益 (営業利益率)	1,648 (3.3%)	1,724 (3.3%)	75 (▲0.0pt)	4.6%	1,000 (2.0%)	基幹システム更新費用などにより 経費が増加するも増益 予想比大幅増
経常利益	1,313	1,844	530	40.4%	-	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,250	52	▲1,198	▲95.8%	-	英国子会社の年金バイアウトに 伴う特別損失計上▲9億円
為替 (円/米ドル)	期中平均	131.04	139.00	7.96	6.1%	130.00
	期末	144.81	149.58	4.77	3.3%	130.00

注：2023年5月17日決算説明資料掲載数値

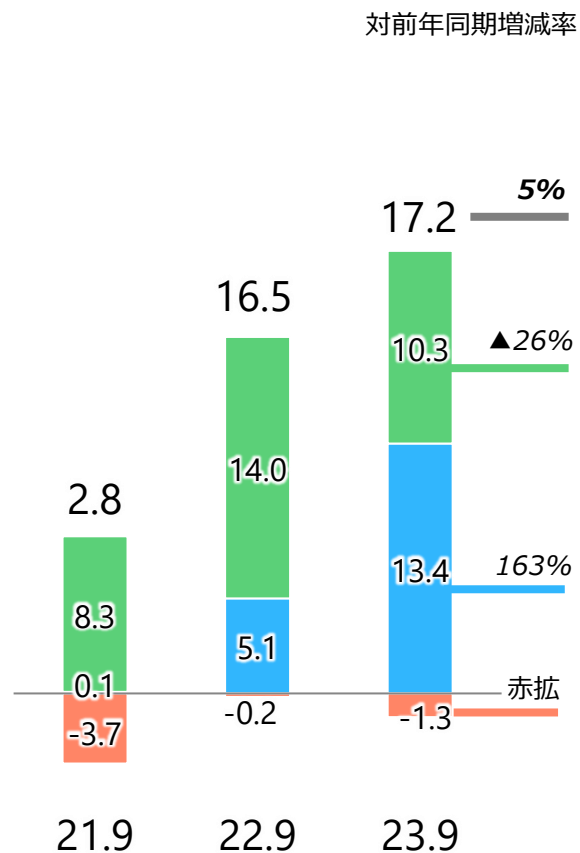
事業部門別売上高・営業利益

◆ 電子化学実装が市場環境悪化を受け減収減益、情報機器は赤字拡大となるも電子部品は増収増益

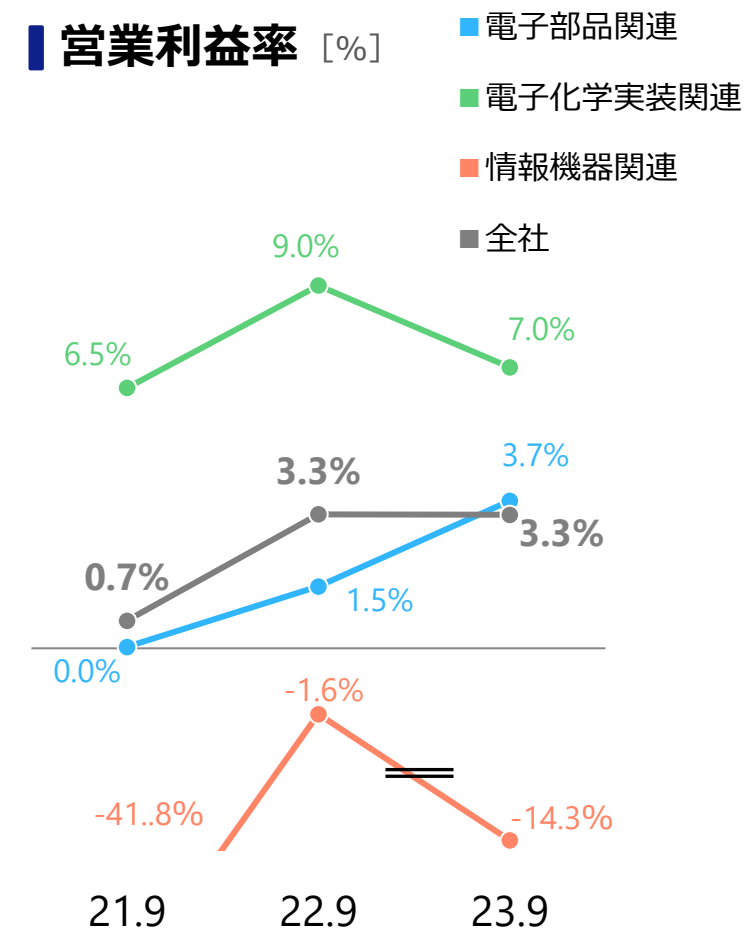
売上高 [億円]



営業利益 [億円]



営業利益率 [%]

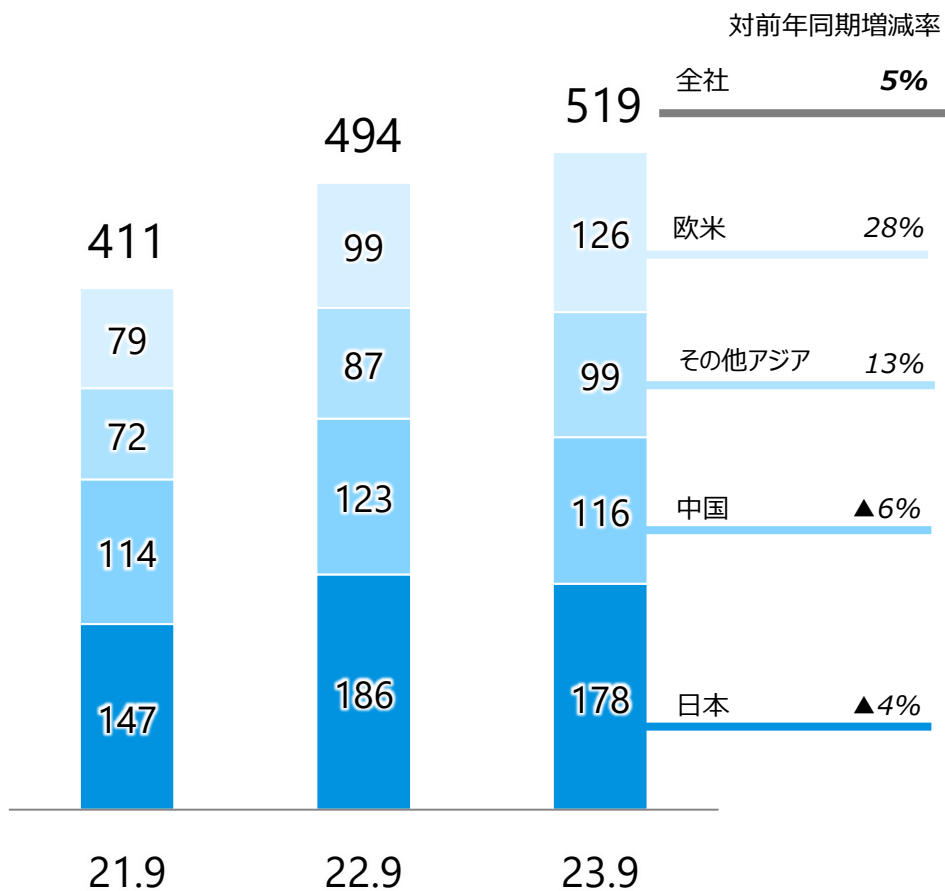


注: 連結消去 (主に全社未来開発費) により、営業利益の全社の値と、事業部門の合計が一致しません

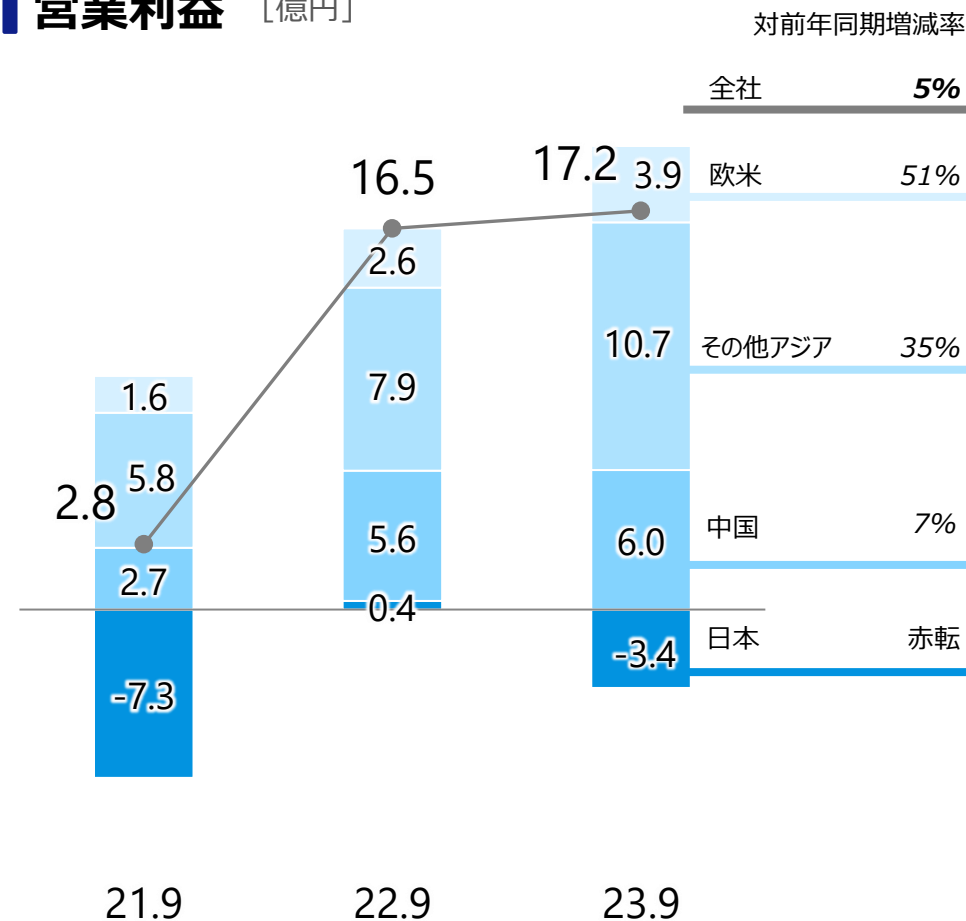
地域別売上高・営業利益

- ◆ 注力する欧米で売上・利益が伸長
- ◆ 日本は、基幹システム更新費用などにより赤字計上

売上高 [億円]



営業利益 [億円]

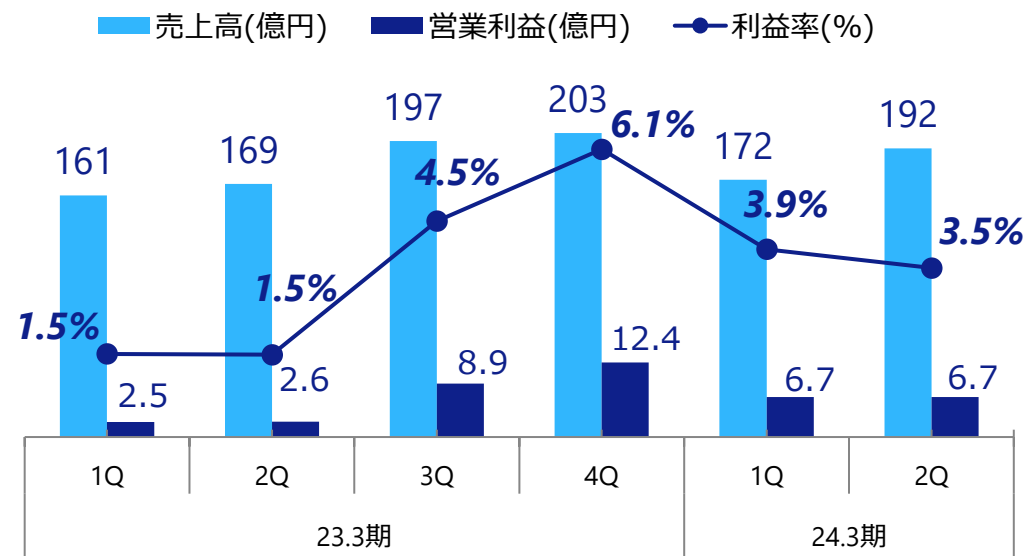


注: 日本には連結消去等を含めて表示しています

【事業部門別】電子部品関連事業 実績

- ◆ 大型トランス・リアクタやLED製品の堅調な需要に加え、円安効果もあり増収
- ◆ 営業利益は、価格改定効果やプロダクトミックスの影響などにより増益

(百万円)	2023.3期	2024.3期	増減(%)	2024.3期
	2Q実績	2Q実績		2Q予想(注)
売上高	32,978	36,400	10.4%	34,700
営業利益	507	1,336	163.1%	1,050
営業利益率	1.5%	3.7%	2.1pt	3.0%



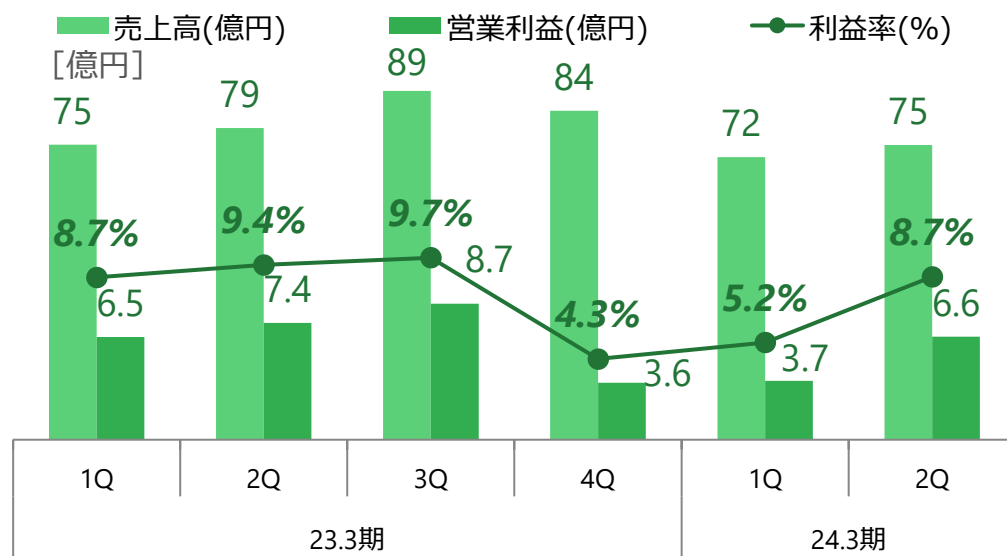
製品別 売上高	2023.3期	2024.3期	構成比(%)	増減率(%)
	2Q実績	2Q実績		
製品別 売上高	330	364	100.0%	10.4%
リアクタ・コイル	100	115	31.5%	14.0%
トランス	42	47	12.9%	11.9%
大型トランス・リアクタ	28	47	13.0%	68.1%
ACアダプタ・チャージャ	83	54	14.7%	▲35.1%
電源・モジュール・セラミック他	54	69	19.0%	27.3%
LED	23	33	9.0%	45.2%
市場別 売上高	330	364	100.0%	10.4%
産業機械	87	104	28.6%	19.5%
エネルギー	42	58	15.9%	36.6%
交通・車両	28	35	9.5%	24.6%
家電・住宅	147	136	37.2%	▲8.0%
情報通信・AV他	25	32	8.8%	26.9%

【事業部門別】電子化学実装関連事業 実績

- ◆ 中国市場の停滞や半導体需要の低迷により、減収減益
- ◆ 営業利益率は、2023年3月期第4四半期を底に回復傾向

(百万円)	2023.3期	2024.3期	増減(%)	2024.3期
	2Q実績	2Q実績		2Q予想(注)
売上高	15,472	14,718	▲4.9%	14,600
営業利益	1,397	1,030	▲26.3%	750
営業利益率	9.0%	7.0%	▲2.0pt	5.1%

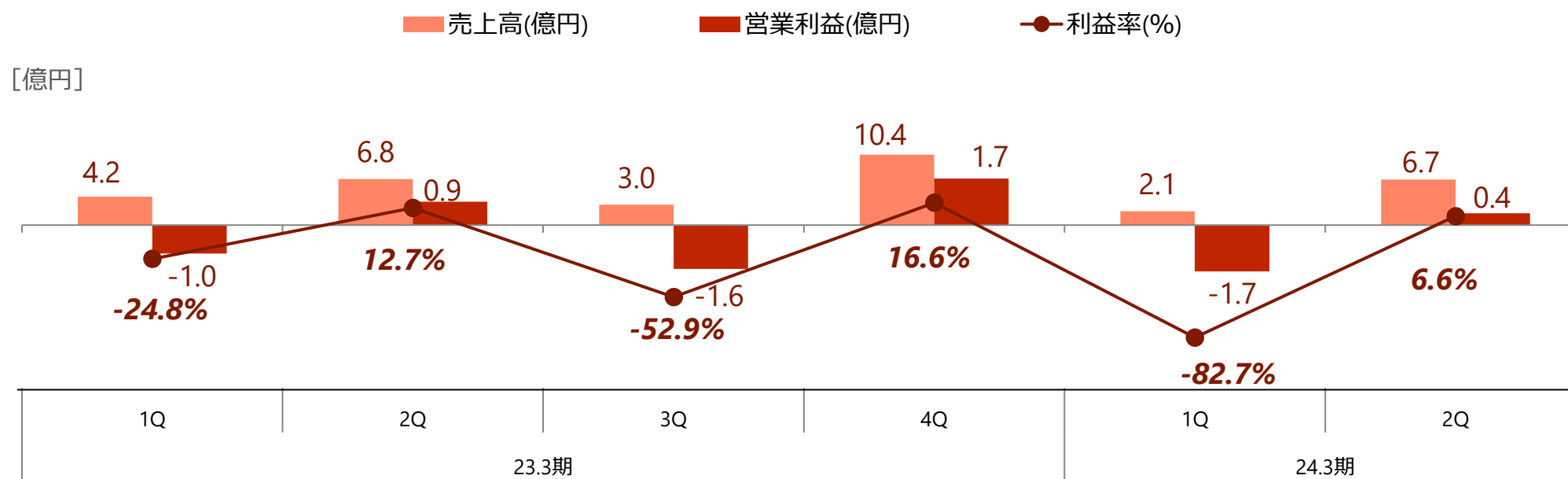
(億円)	2023.3期	2024.3期	構成比(%)	前期増減率(%)
	2Q実績	2Q実績		
製品別 売上高	155	147	100.0%	▲4.9%
ソルダーペースト関連	92	88	60.0%	▲4.0%
ソルダーレジスト関連	31	23	15.8%	▲24.3%
フラックス他	12	12	7.9%	▲1.9%
実装装置	20	24	16.4%	19.4%



【事業部門別】情報機器関連事業 実績

◆ 前年同期に含まれた前倒し納品などの一過性増益要因が消失したことで減収・赤字継続

(百万円)	2023.3期	2024.3期	増減(%)	2024.3期
	2Q実績	2Q実績		2Q予想 (注)
売上高	1,102	877	▲20.4%	900
営業利益	▲18	▲125	赤拡	▲200
営業利益率	▲1.6%	▲14.3%	▲12.7pt	▲22.2%



2023年9月末 貸借対照表・キャッシュ・フロー計算書

- ◆ 棚卸資産が前期末比増加。目標棚卸回転期間を設定し、削減活動を推進中
- ◆ キャッシュフローは、営業CFが増大し、フリーCFがプラスに転換

[億円]

	23.3末	23.9末	増減額
現金・預金	144	155	10
売上債権	273	275	2
棚卸資産	257	263	6
有形固定資産	294	299	5
資産合計	1,118	1,153	35
仕入債務	140	145	5
有利子負債	353	353	0
純資産	529	552	23
負債・純資産合計	1,118	1,153	35

	23.3末	23.9末	増減
自己資本比率 (%)	47.1%	47.7%	0.6pt

キャッシュ・フロー	22.9末	23.9末	増減額
営業CF	▲9.7	37.7	47.5
投資CF	▲12.1	▲13.3	▲1.1
財務CF	8.8	▲19.2	▲28.0
フリーCF	▲21.9	24.4	46.3
キャッシュの増減	▲2.2	10.9	13.1
キャッシュの残高	126.6	147.1	-

2. 2024年3月期 通期業績予想

2024年3月期 通期業績予想

◆ 事業分野による好不調の混在があり、通期業績予想を据え置き

(百万円)	2023.3期	2024.3期			通期増減率 (%)
	実績	上期実績	下期予想	通期予想	
売上高	107,993	51,871	56,129	108,000	0.0%
営業利益 (営業利益率)	4,829 (4.5%)	1,724 (3.3%)	2,876 (5.1%)	4,600 (4.3%)	▲4.7%
経常利益	4,329	1,844	2,256	4,100	▲5.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,047	52	1,248	1,300	▲36.5%
為替 (円/米ドル)	期中平均	134.39	139.00	138.00	2.7%
	期末	133.53	149.58	138.00	3.3%

年金バイアウト関連
特損含む

2024年3月期 通期業績予想 事業部門別・地域別

- ◆ 全社費用の増加により、前年比減益予想
- ◆ 地域別では、欧米で増収・増益見込み

事業部門別 (億円)	2023.3期	2024.3期	
	実績	予想	増減率(%)
売上高	1,079.9	1,080.0	0.0%
電子部品	729.7	730.0	0.0%
電子化学実装	327.5	316.0	▲3.5%
情報機器	24.4	34.0	39.1%
営業利益	48.3	46.0	▲4.7%
電子部品	26.4	25.0	▲5.4%
電子化学実装	26.3	27.0	2.8%
情報機器	▲0.1	4.0	黒転
その他	▲4.3	▲10.0	-
営業利益率	4.5%	4.3%	▲0.2pt
電子部品	3.6%	3.4%	▲0.2pt
電子化学実装	8.0%	8.5%	0.5pt
情報機器	▲0.3%	11.8%	12.0pt

地域別 (億円)	2023.3期	2024.3期		
	実績	予想	構成比(%)	増減率(%)
売上高	1,079.9	1,080.0	100.0%	0.0%
日本	389.5	380.0	35.2%	▲2.4%
中国	289.7	250.0	23.1%	▲13.7%
その他アジア	199.0	194.0	18.0%	▲2.5%
欧米	201.7	256.0	23.7%	26.9%
営業利益	48.3	46.0	100.0%	▲4.7%
日本(注)	3.2	1.0	2.2%	▲68.7%
中国	20.6	17.0	37.0%	▲17.6%
その他アジア	20.9	20.0	43.5%	▲4.2%
欧米	3.6	8.0	17.4%	123.1%

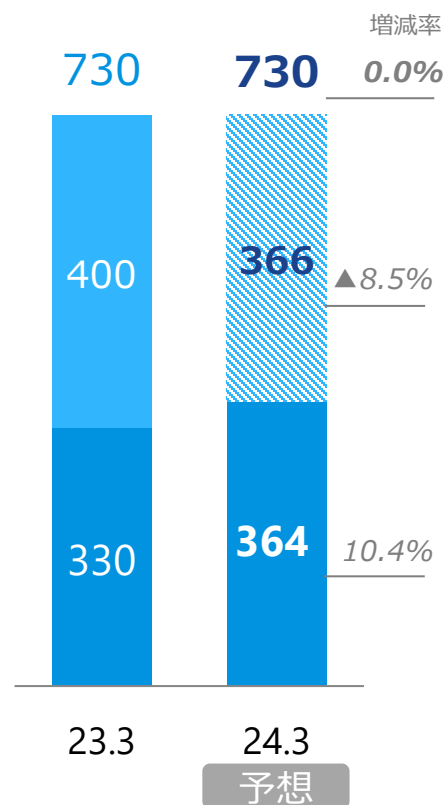
基幹システム更新費用5億円含む（更新完了まで数年にわたり発生予定）

注：日本には連結消去等を含めて表示しています

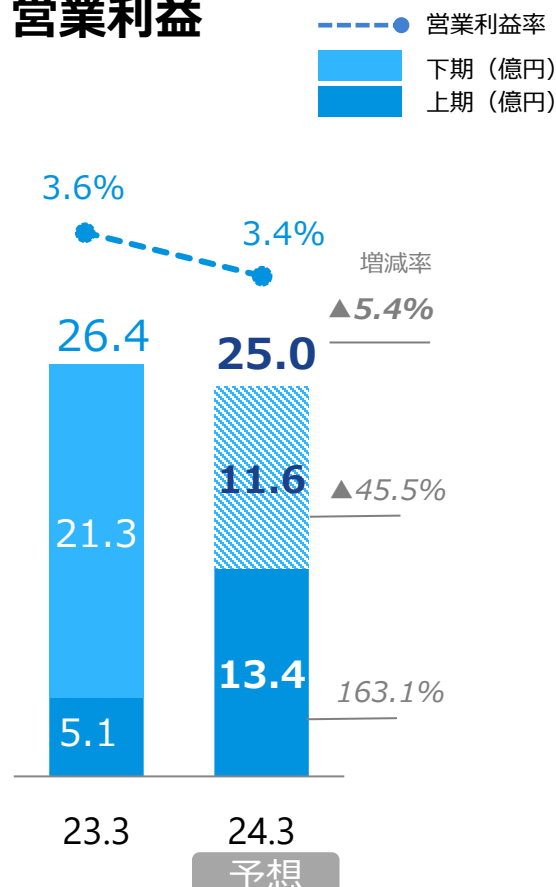
2024年3月期 電子部品関連事業 通期業績予想

- ◆ 電動工具向けチャージャ、産機向けトランス・リアクタ、エアコン用リアクタの需要が低位で推移する見込み
- ◆ 下期低調により、わずかに減益見込み

売上高



営業利益



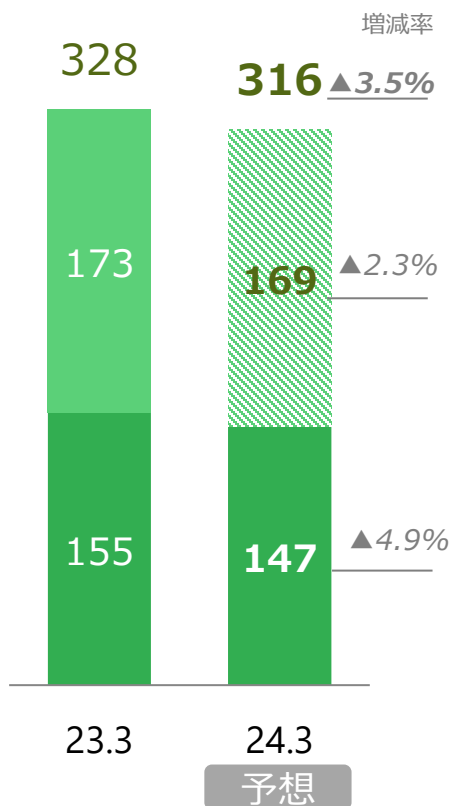
	(億円)		構成比(%)	増減率(%)
	2023.3期 実績	2024.3期 予想		
製品別 売上高	730	730	100.0%	0.0%
リアクタ・コイル	222	237	32.5%	6.8%
トランス	97	91	12.5%	▲5.7%
大型トランス・リアクタ	65	105	14.4%	62.7%
ACアダプタ・チャージャ	176	99	13.6%	▲43.5%
電源・モジュール・セラミック他	116	133	18.3%	14.9%
LED	54	63	8.7%	17.6%
市場別 売上高	730	730	100.0%	0.0%
産業機械	188	203	27.8%	7.6%
エネルギー	97	131	17.9%	34.2%
交通・車両	60	76	10.4%	25.8%
家電・住宅	321	257	35.2%	▲20.0%
情報通信・AV他	62	64	8.8%	2.7%

注：四半期予想推移は、参考資料スライド37をご覧ください

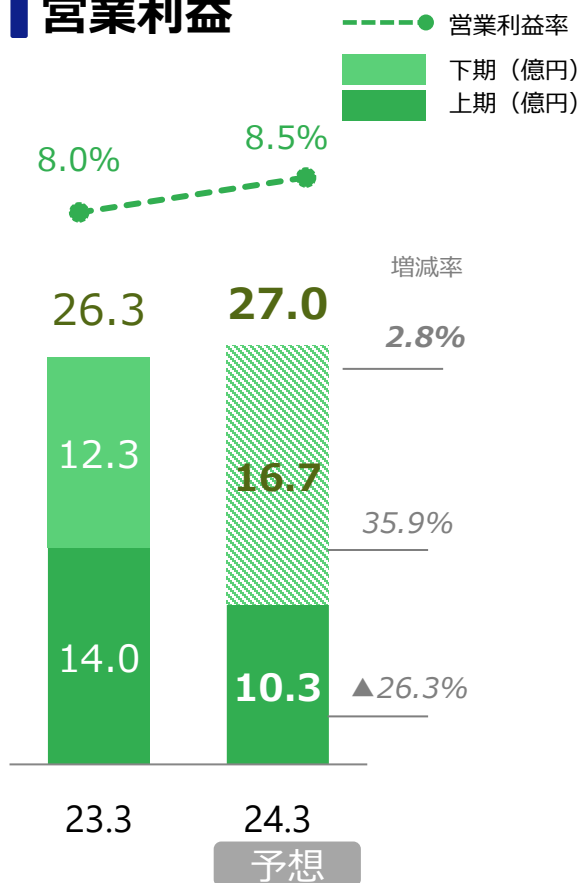
2024年3月期 電子化学実装関連事業 通期業績予想

◆ 減収予想だが、電子化学事業の収益性改善により利益は前年並みの見込み

売上高



営業利益

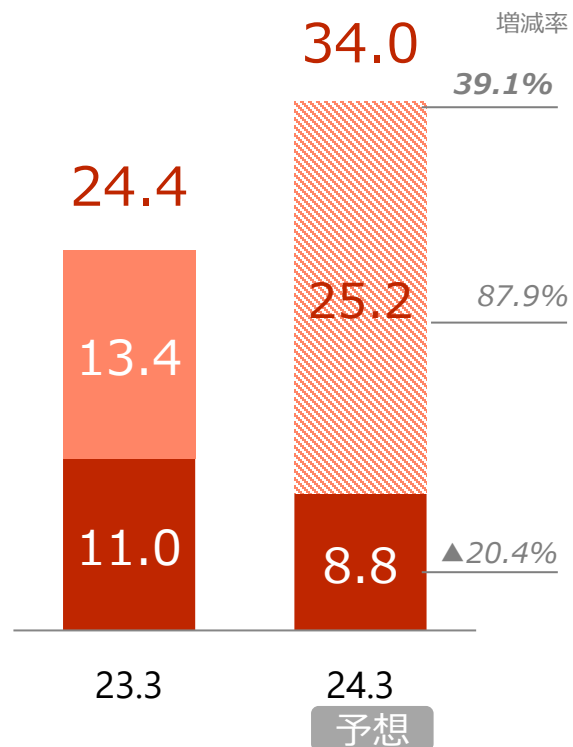


	2023.3期	2024.3期		
	実績	予想	構成比 (%)	前期増減率 (%)
(億円)				
製品別 売上高	328	316	100.0%	▲3.5%
ソルダーペースト関連	196	190	60.1%	▲2.9%
ソルダーレジスト関連	60	53	16.7%	▲12.3%
フラックス他	26	25	8.0%	▲0.6%
実装装置	49	48	15.2%	▲1.3%

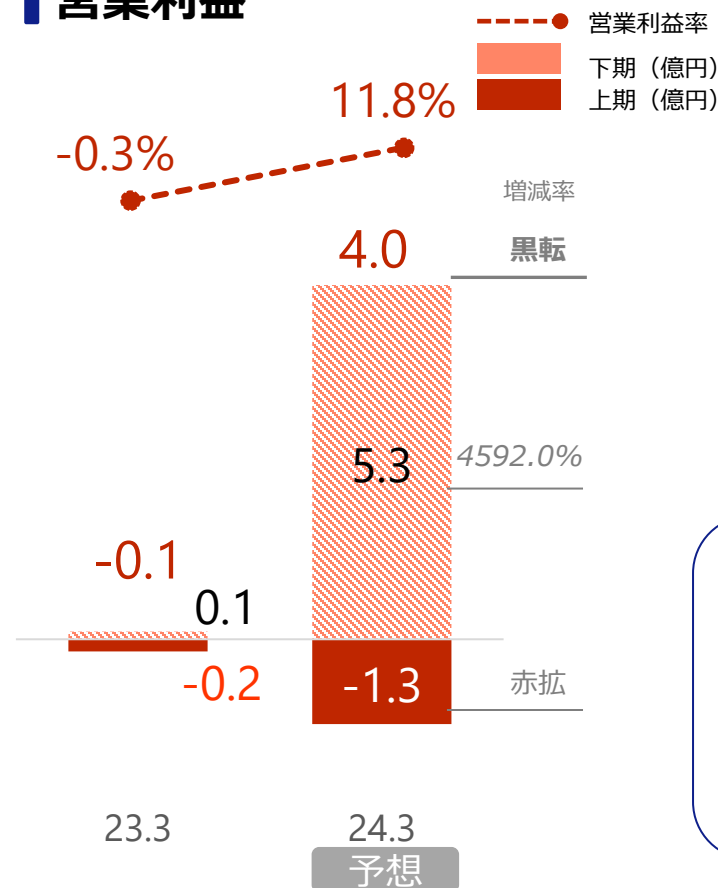
2024年3月期 情報機器関連事業 通期業績予想

◆ 下期に次世代音声卓の販売を見込み、増収・黒字転換

売上高



営業利益



- IPベースの次世代放送システムに対応
- 高密度実装でラックスペース削減、低消費電力
- 音声処理の音質向上
- Inter BEE 2023(国際放送機器展)出展

注：四半期予想推移は、参考資料スライド39をご覧ください

2024年3月期 設備投資・減価償却費・研究開発投資予想

- ◆ 大型投資の一巡により、設備投資は減少
- ◆ 研究開発関連費用は、要素技術開発の強化やワイドバンドギャップ半導体向け製品の開発等により増加

■ 設備投資・減価償却費・研究開発関連費用(注)

(億円)	2023.3期	2024.3期		
	実績	予想	増減	増減率(%)
設備投資	33.6	26.8	▲6.8	▲20.3%
減価償却費 ※リース含む	39.3	39.1	▲0.2	▲0.6%
研究開発 関連費用 (売上比率)	35.1 (3.2%)	42.0 (3.9%)	6.9	19.7%

注: 「研究開発関連費用」は、研究開発テーマに関わる
経費・労務費・設備投資などを、当社の基準で集計している値です。

3. 中期経営計画の推進

第13次中期経営計画 (2022/4～2025/3) の概要 (再掲)

- ◆ 成長と効率の二本柱からなる事業戦略と、マテリアリティを軸としたサステナビリティ戦略を推進
- ◆ 創業100周年とその先の力強い未来に向け、事業の持続的な成長と企業価値の向上に取り組む

Energize the Future 100

創業100周年とその先の力強い未来を創る変革

2050

事業戦略: 成長と効率の二本柱

- カーボンニュートラルに貢献する事業成長

グローバル
展開強化

新製品
新事業
創出

- 事業収益・資産効率向上

営業利益
60億円
(6%)

ROE 8%

2024
100周年

サステナビリティ戦略

マテリアリティを軸に、2030年
温室効果ガス削減目標達成と
「2050ありたい姿」実現を目指す

マテリアリティ

- ① 持続的な事業成長
- ② 製品品質の向上
- ③ 適正なサプライチェーン
- ④ コンプライアンス
- ⑤ 働きがいの実現
- ⑥ 地域社会との共生
- ⑦ 地球環境保全・脱炭素社会の
実現への貢献
- ⑧ 情報開示の充実

2050ありたい姿

世界のエレクトロニクス市場
に高く評価される
脱炭素社会実現の
リーディングカンパニー

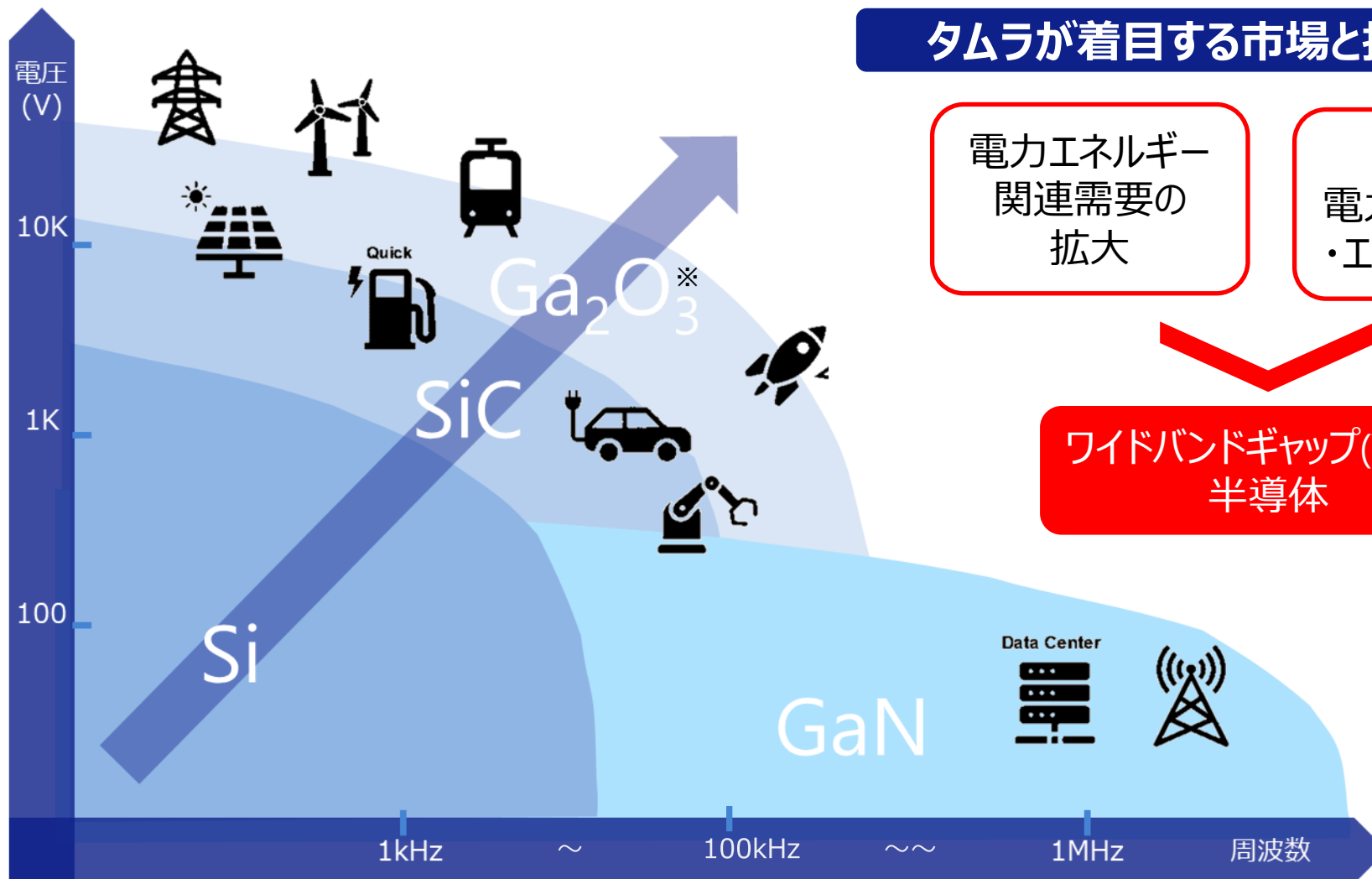
中長期の成長に向けた方針

◆ 世の中から求められる唯一無二の会社として、100周年とその先の成長を続けていくために取り組みを進める

1. 創業の原点に立ち返り、時代の変化を先取りした製品・サービスを提供する
→ **カーボンニュートラルとエネルギー**に関わる分野に注目する
2. コア技術の強みを生かして製品を展開する
→ **素材からエレクトロニクスにアプローチし、唯一無二の製品を創る**
3. **グループ一体（Oneタムラ）で重点領域に技術や経営資源を集中**

ワイドバンドギャップ (WBG) 半導体へのニーズの拡大

◆ 大容量電力エネルギー需要の拡大とエネルギー変換の高効率化の要求により、WBG半導体へのニーズが拡大



タムラが着目する市場と技術の変化

電力エネルギー
関連需要の
拡大

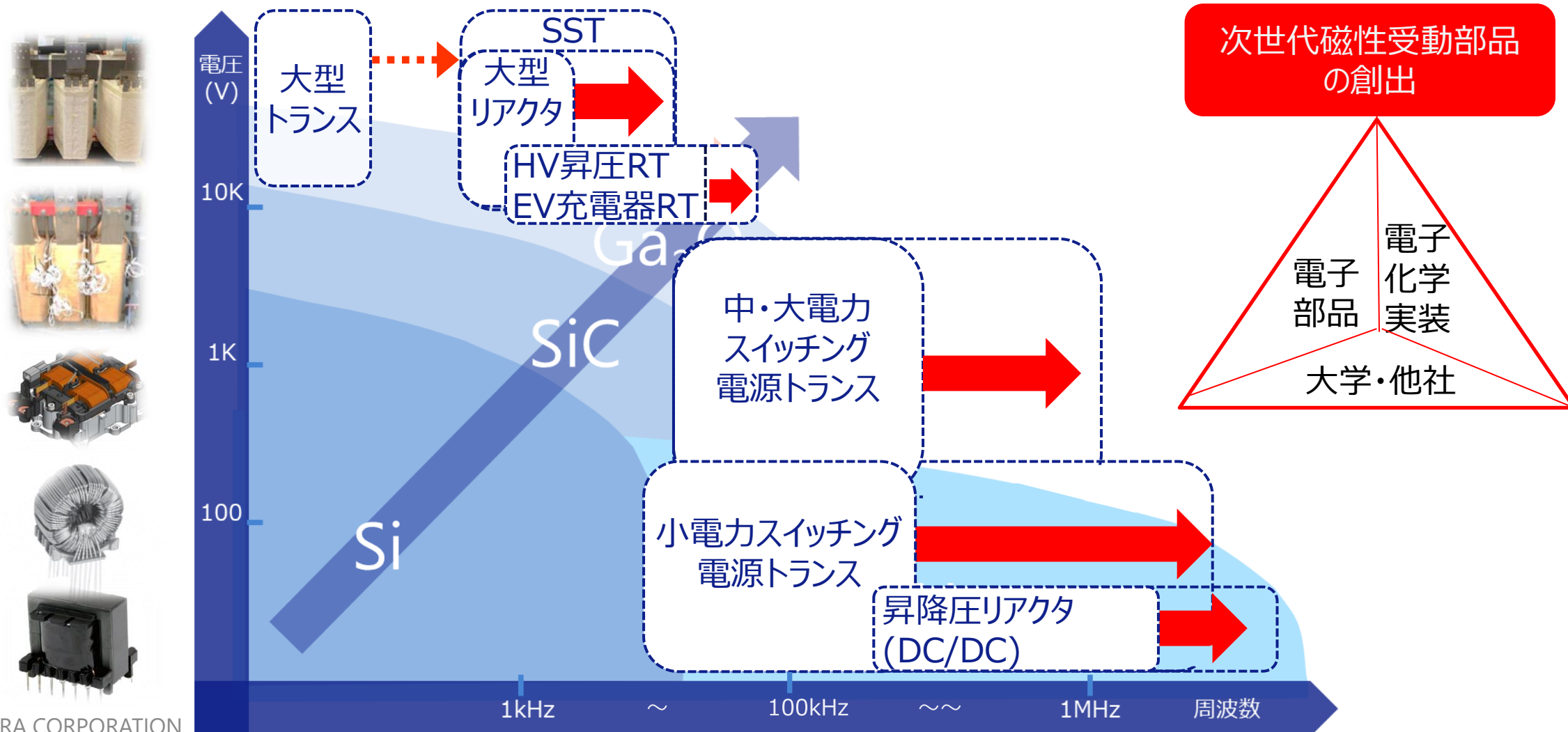
大容量の
電力コントロール
・エネルギー変換

ワイドバンドギャップ(WBG)
半導体

※Ga₂O₃ (酸化ガリウム)
パワー半導体は、タムラ製作所の
持分法非適用の関連会社である
株式会社ノバルクリスタルテクノロジーで
研究開発されています

ワイドバンドギャップ (WBG) 半導体向け製品の創出

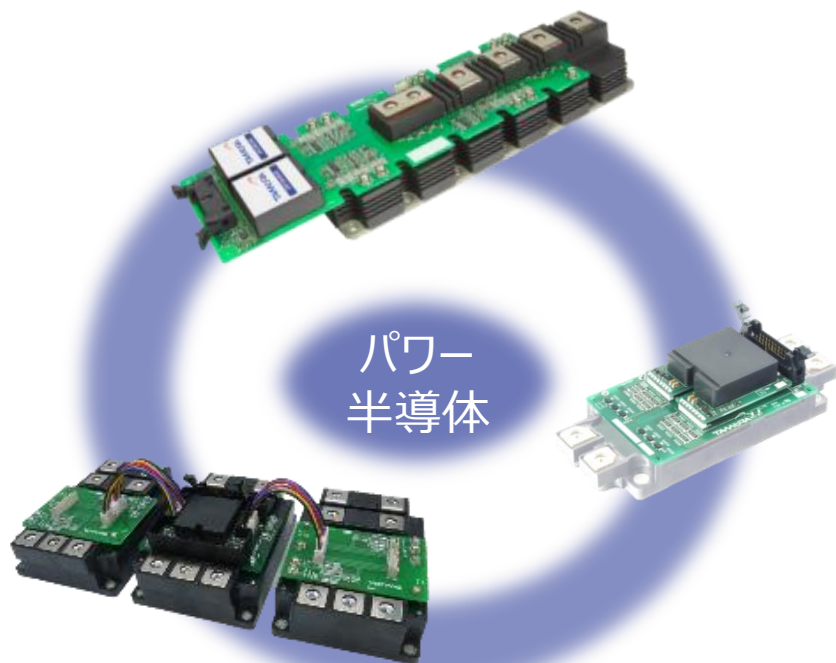
◆ WBG半導体への進化を機会と捉え、素材から差別化した次世代磁性受動部品の創出を目指す



ゲートドライバモジュールの開発

◆ WBG半導体への進化とともに拡大する市場に向け、ゲートドライバモジュールの開発・拡販を推進

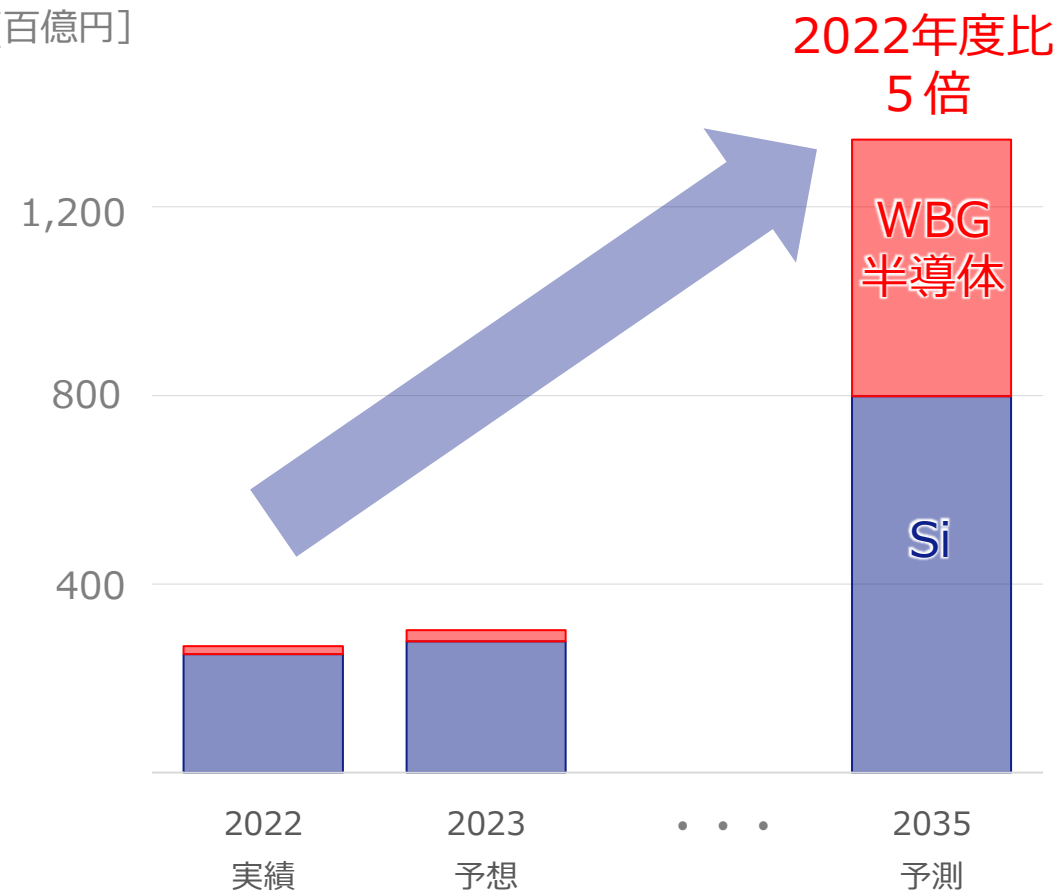
タムラのゲートドライバモジュール



➤ ゲートドライバモジュールとは、
パワー半導体をインバータの仕様に合わせ、
最適に動作させる製品

パワー半導体市場の成長

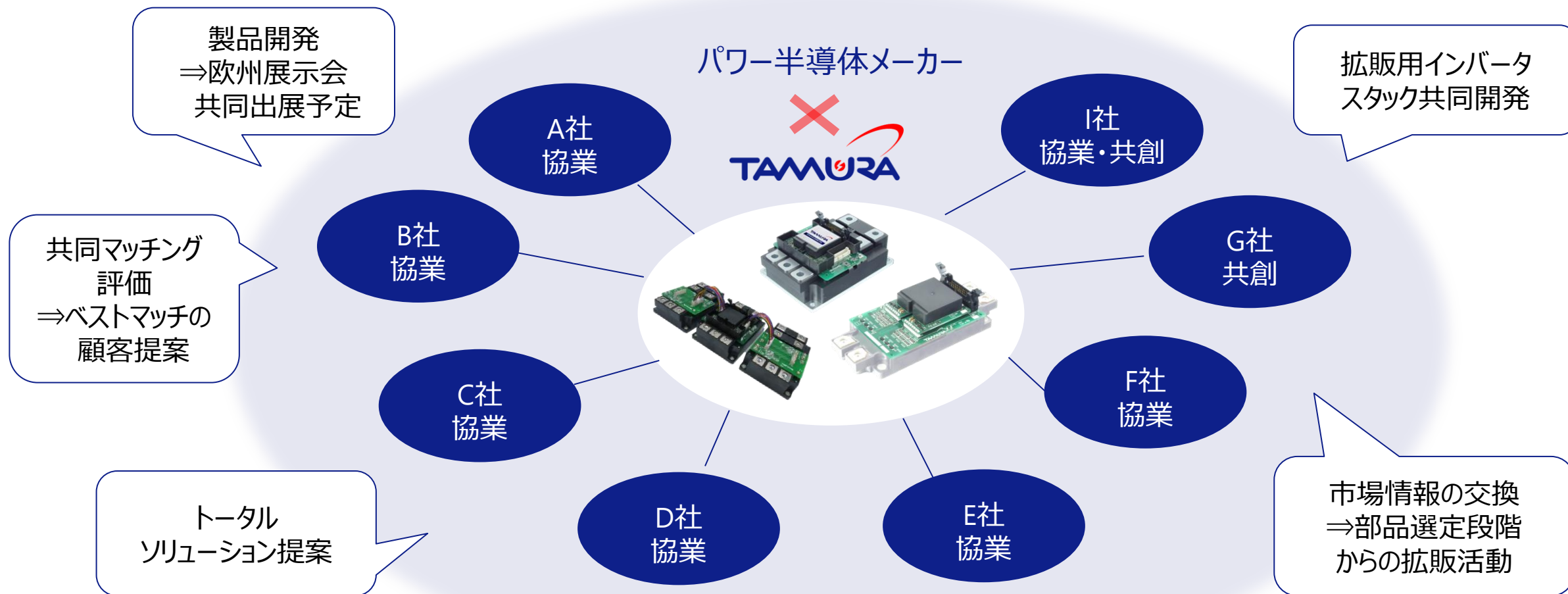
[百億円]



出展：富士経済プレスリリース、2023年4月10日

ゲートドライバモジュールの拡販戦略

◆ 国内外複数のパワー半導体メーカーと協業・共創中。パワーエレクトロニクスシステムをターゲットに拡販を目指す



パワーエレクトロニクス向け製品の拡販

◆ 大型トランス・リアクタ、ゲートドライバモジュール、電流センサを提供することでトータルソリューションを提案

パワエレシステム 主要部品



大型トランス・リアクタ

- 大規模発電設備や直流給電(HVDC)による送配電で使用
- メキシコ工場の生産能力の増強工事完了

パワー半導体



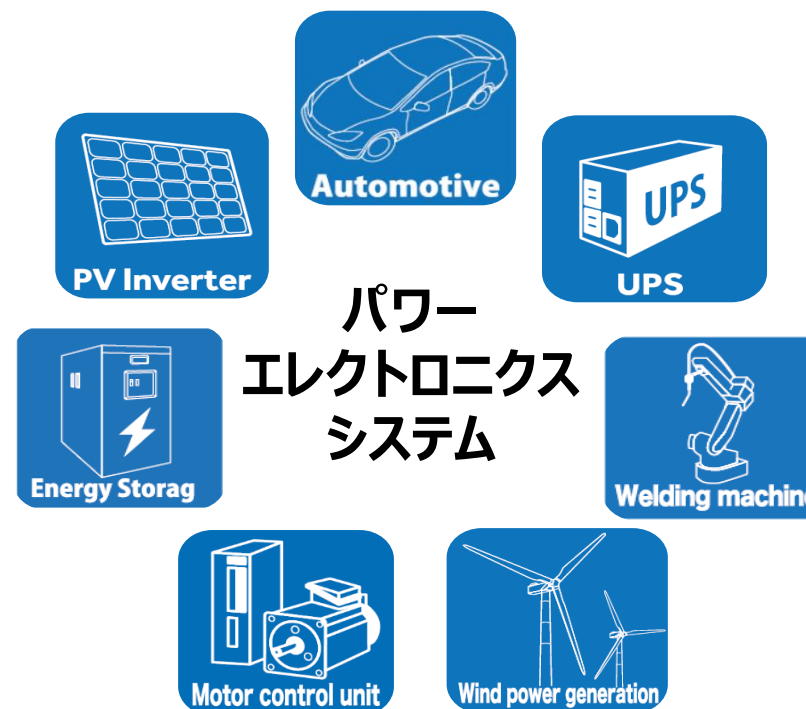
ゲートドライバモジュール



電流センサ

- インバータの動作を制御するための電流を検知

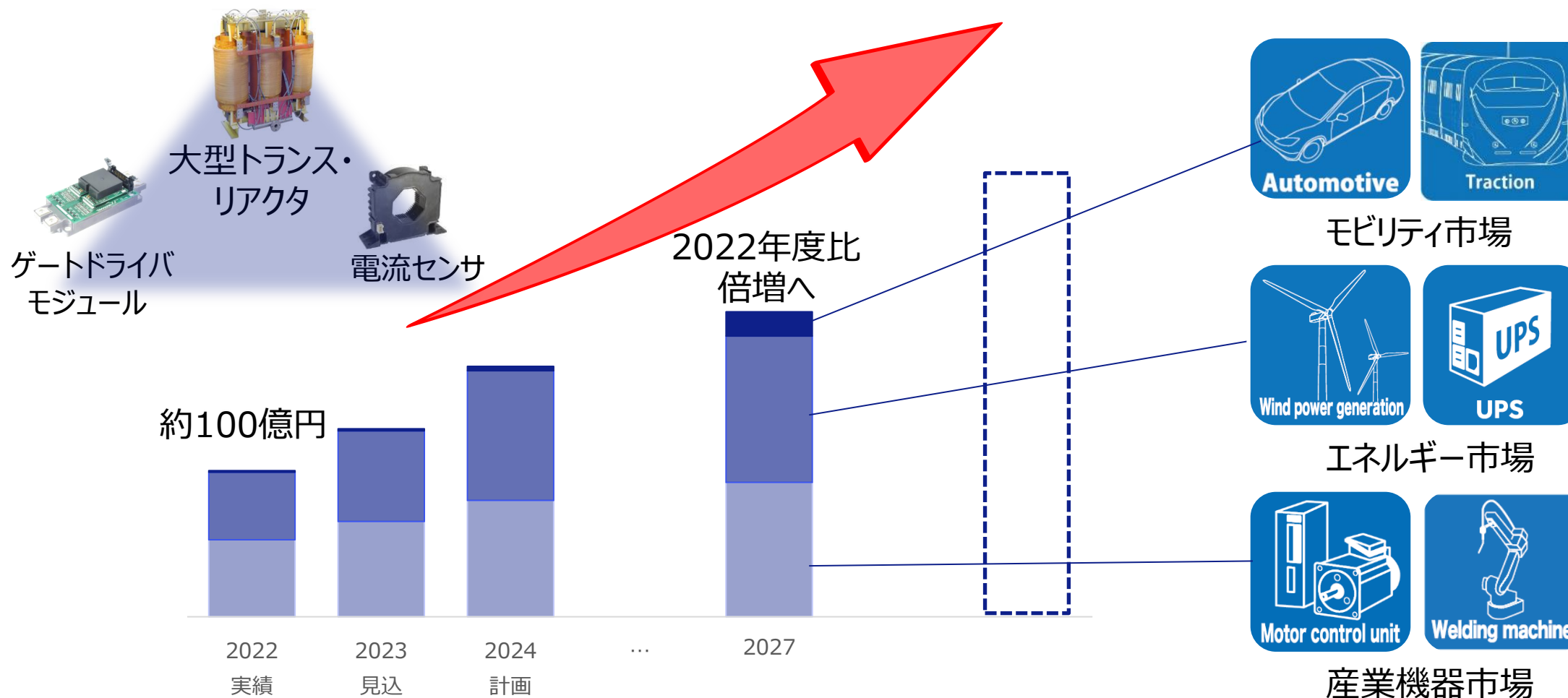
トータルソリューションの提案



- パワーエレクトロニクスのシステムの特性を決定する主要部品をトータルでサポート

トータルソリューションによる売上の拡大

- ◆ トータルソリューション提案で、アメリカを中心としたデータセンターや再生可能エネルギー市場の成長を捉え売上拡大を目指す



パワーエレクトロニクス向け高耐熱接合材

- ◆ パワーエレクトロニクスを対象とした、優れた特性をもつ高耐熱接合材の開発完了。顧客への紹介を開始
- ◆ 従来品の特性を更に進化させた、次世代接合材の研究開発を推進中

パワーエレクトロニクス向け高耐熱接合材

項目	要求特性	高耐熱接合材
接合温度	低 省エネ	△
加圧要否	無 工程短縮	○
環境負荷	低 環境貢献	○
TCT耐性 ※1	温度高 高熱ストレス対応	○
PCT耐性 ※2	高 高温対応	△
熱伝導率	高 放熱性に優れる	△
コスト	低 原価低減	△

顧客へ
紹介中



新規開発

WBG半導体

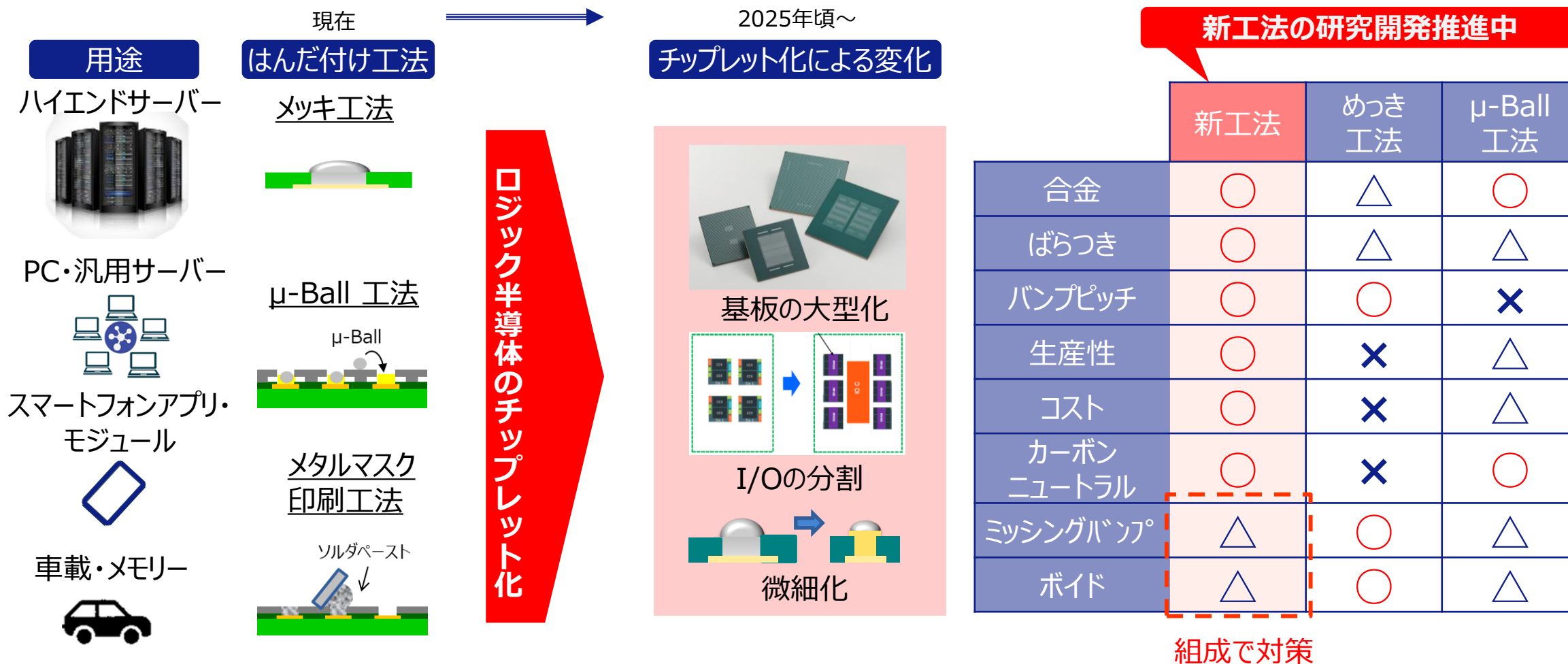
従来品の特性を
進化させた
次世代接合材の
研究開発推進

※1. TCT : Temperature Cycling Test
温度変化による熱ストレスの耐性を確認する試験

※2. PCT : Pressure Cooker Test
耐湿性を評価する目的で開発された試験

ロジック半導体の変化に伴う接合材への要求

- ◆ ロジック半導体の性能向上要求から、チップレット化が進む見込み
- ◆ 半導体基板メーカーとタイアップし、合金組成・生産性・コスト面で優位な新工法の研究開発を推進



4. まとめ

まとめ

2024年3月期 第2四半期決算概要

- 価格改定効果や為替影響などにより増収。営業利益は前年同期比増益、予想を大幅に上回る
- 四半期純利益は、英国子会社の年金バイアウト実施に伴う特別損失の計上により、減益
- 電子化学実装が市場環境悪化を受け減収減益、情報機器は赤字拡大となるも電子部品は増収増益

2024年3月期 通期業績予想

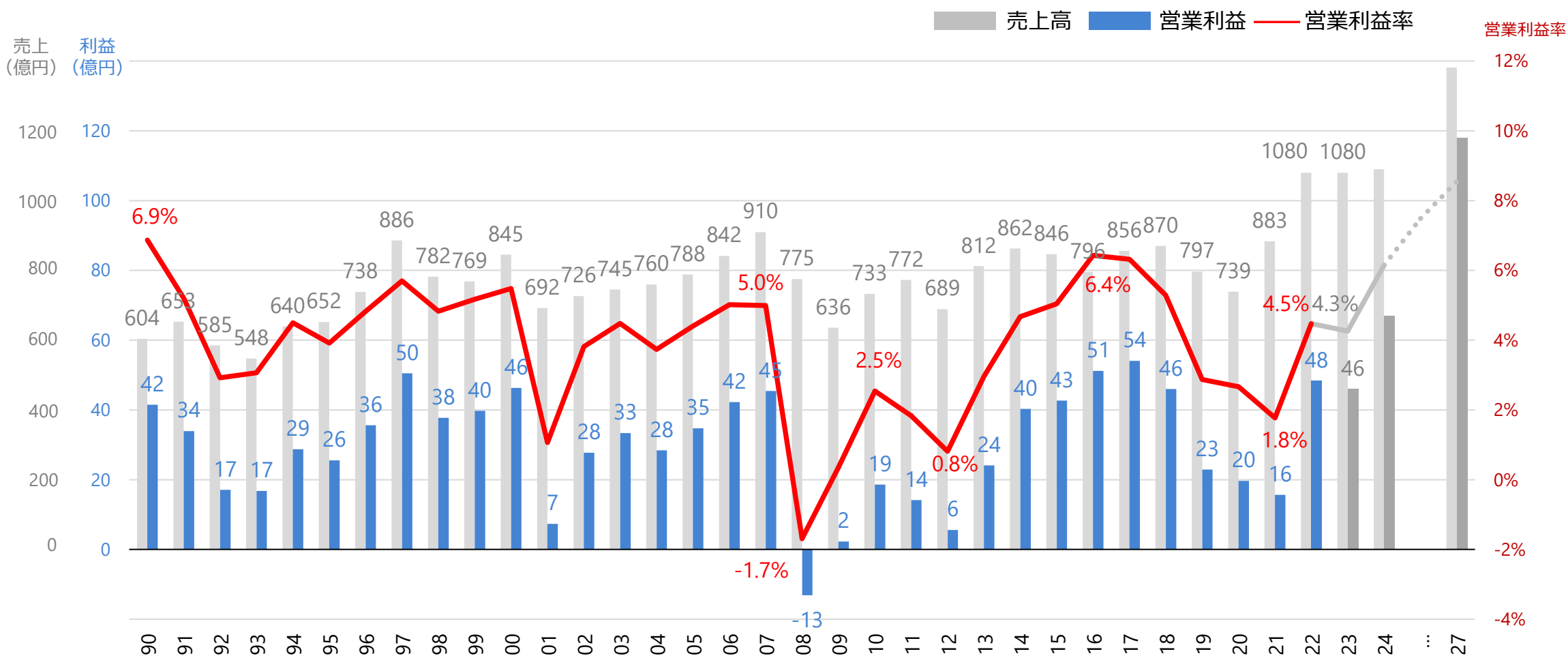
- 事業分野による好不調の混在があり、通期業績予想を据え置き
- 電子部品は、主要製品（チャージャ、トランス・リアクタ等）の需要が低位で推移し、僅かに減収見込み
- 電子化学実装は、減収予想だが、電子化学事業の収益性改善により利益は前年並みの見込み
- 情報機器は、下期に次世代音声卓の販売を見込み、増収・黒字転換見込み

中期経営計画の進捗

- カーボンニュートラルへの要請で期待の高まるパワーエレクトロニクス分野に注力し製品・技術開発を進めることで成長を創出する

【付録】 参考資料

全社：売上高・営業利益の推移



1992年
バブル崩壊

2001年
ITバブル崩壊

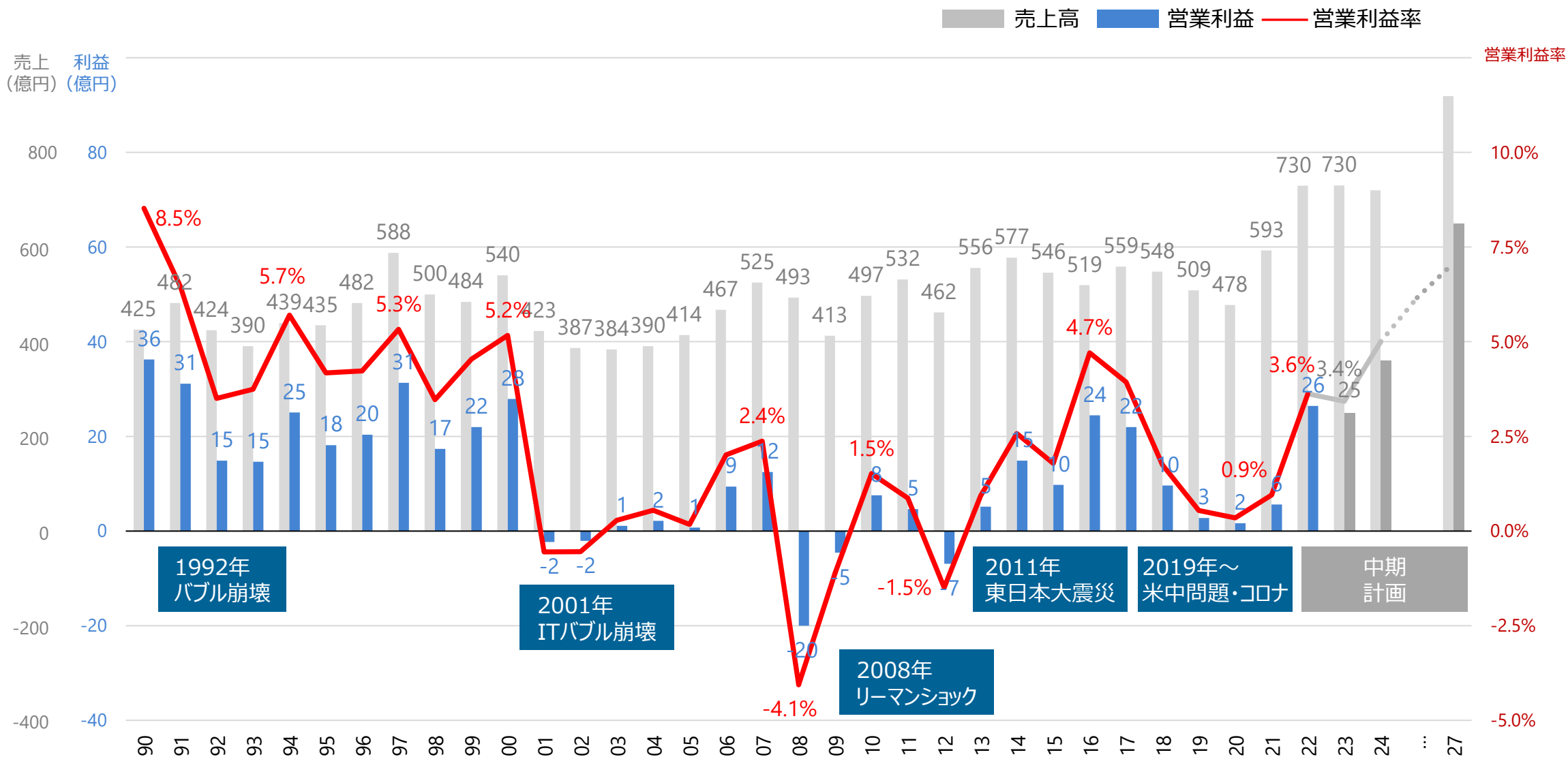
2008年
リーマンショック

2011年
東日本大震災

2019年～
米中問題・コロナ

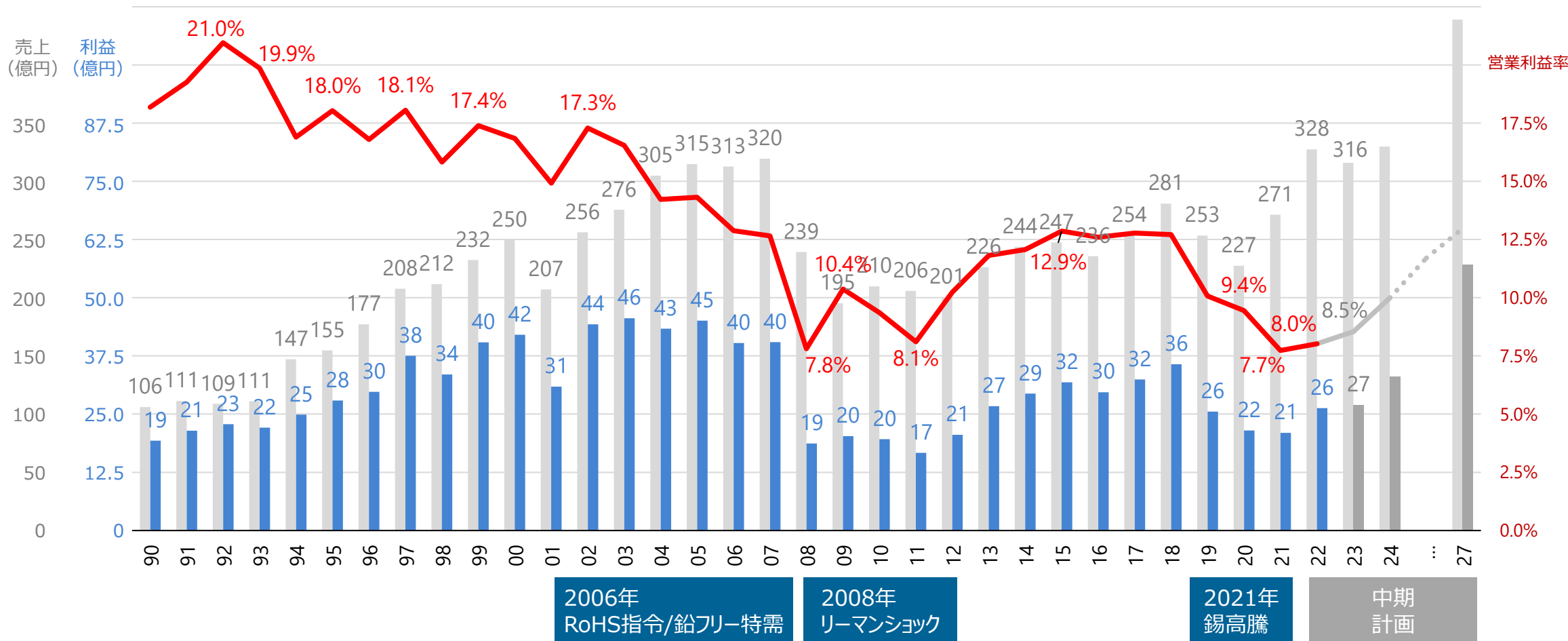
第13次
中期経営計画

電子部品：売上高・営業利益の推移



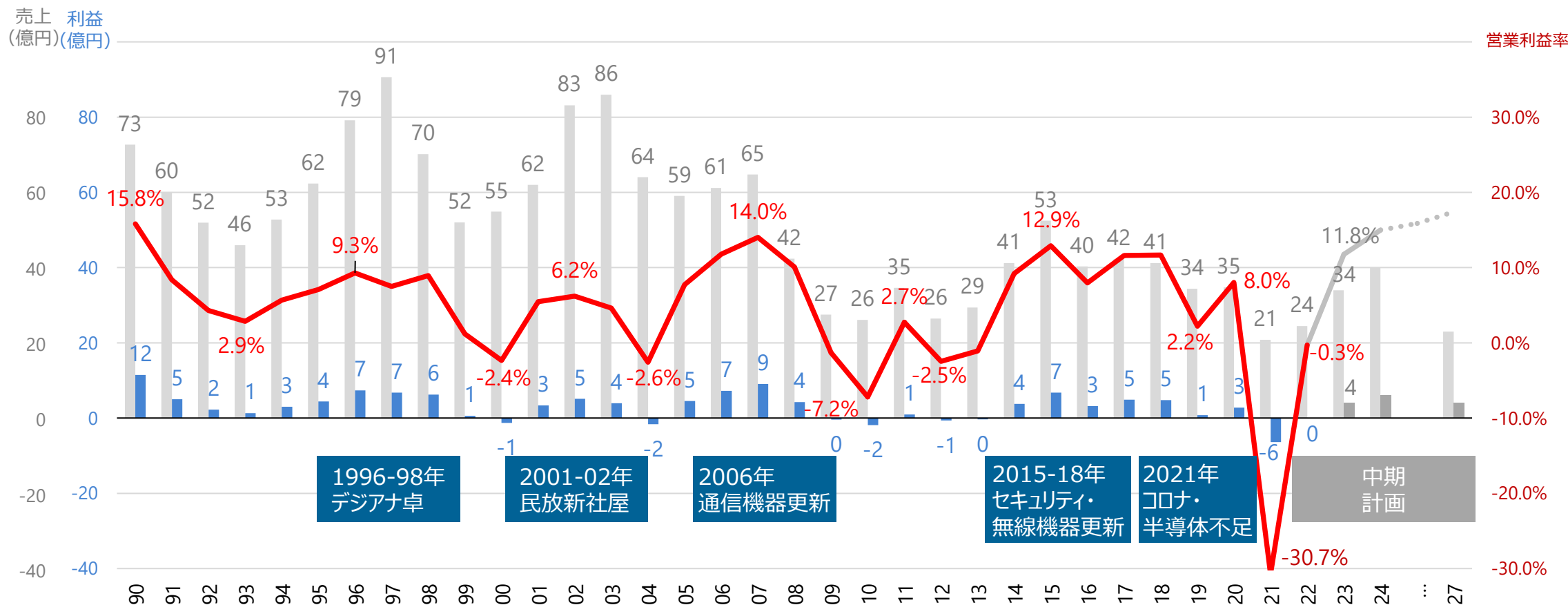
電子化学実装：売上高・営業利益の推移

■ 売上高 ■ 営業利益 — 営業利益率



情報機器：売上高・営業利益の推移

■ 売上高 ■ 営業利益 — 営業利益率



1996-98年
デジアナ卓

2001-02年
民放新社屋

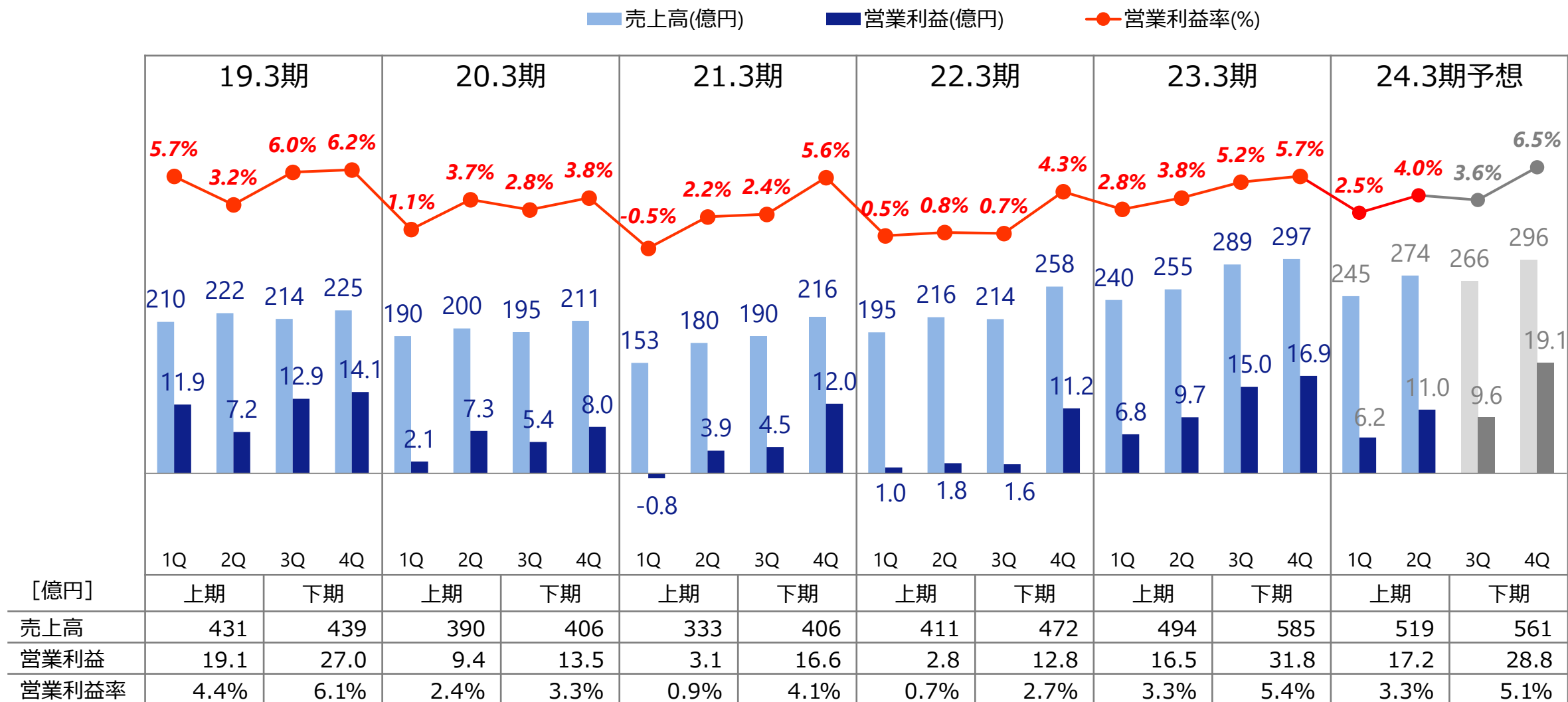
2006年
通信機器更新

2015-18年
セキュリティ・無線機器更新

2021年
コロナ・半導体不足

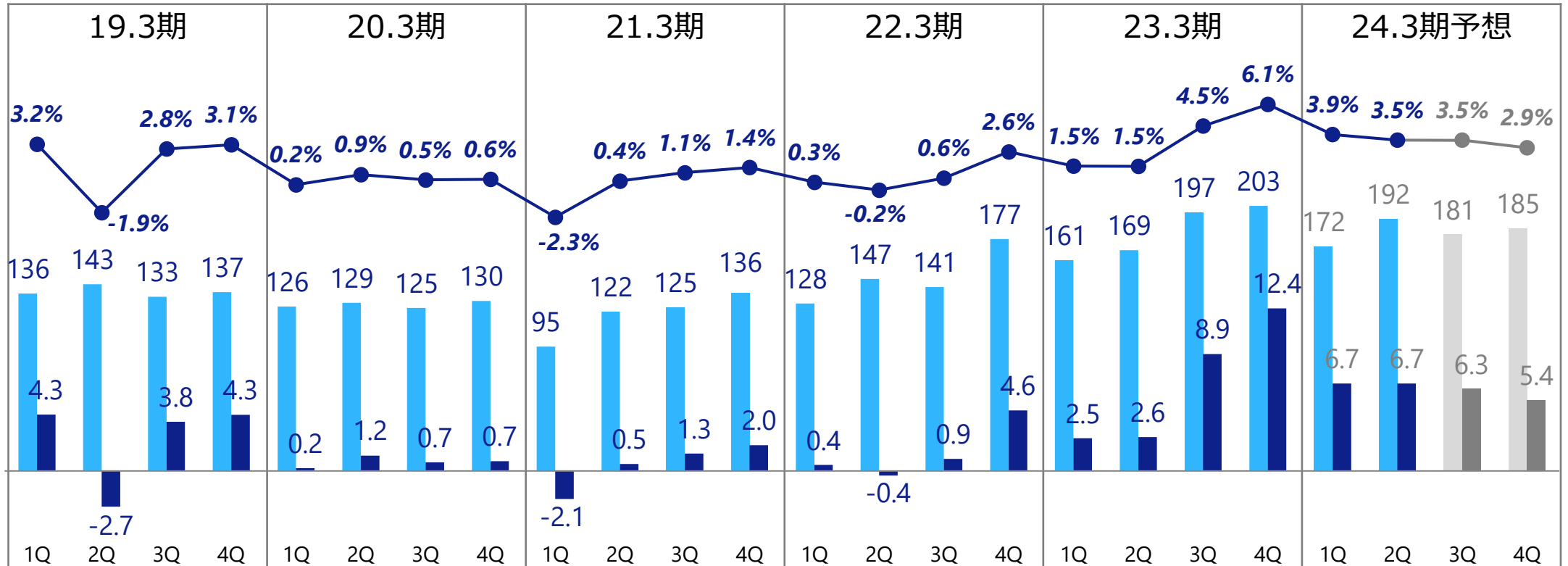
中期
計画

全社: 売上高・損益の四半期推移



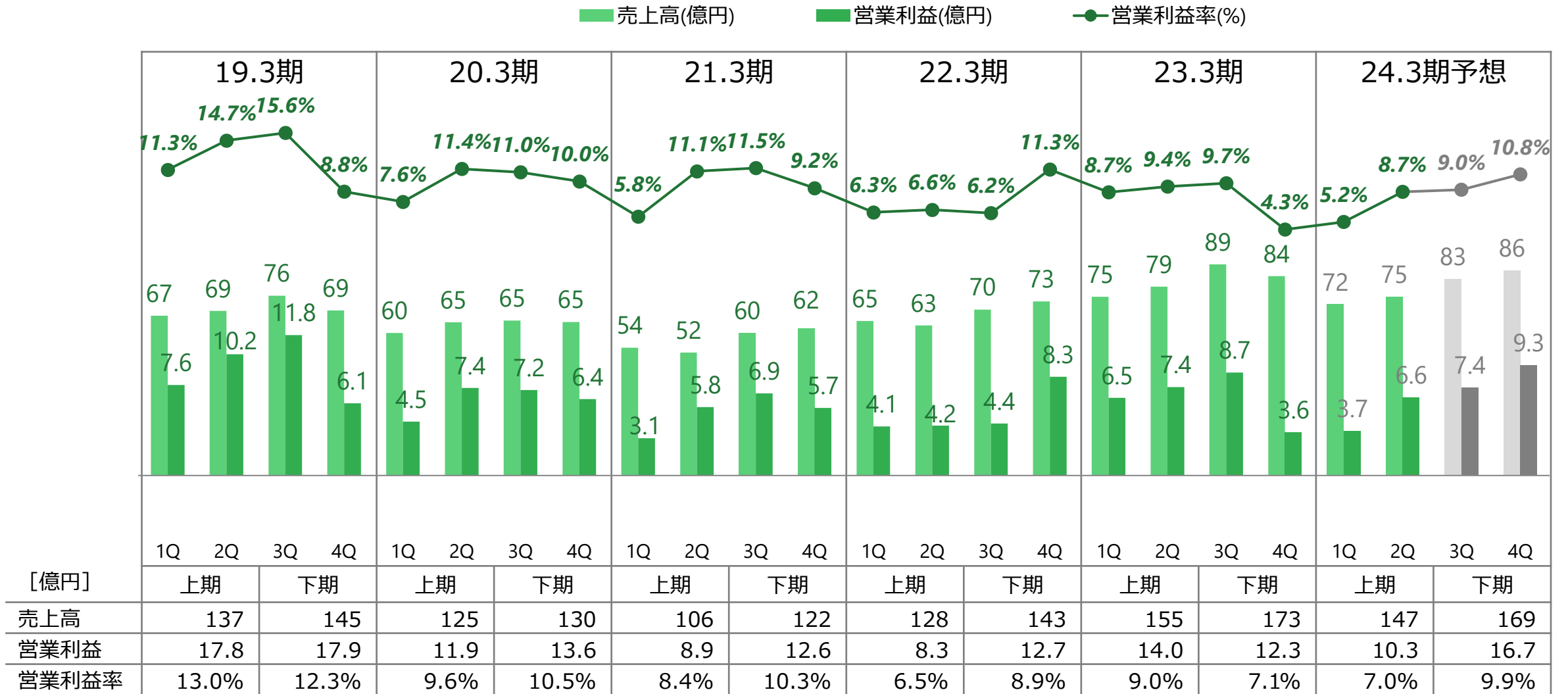
電子部品: 売上高・損益の四半期推移

■売上高(億円) ■営業利益(億円) ●営業利益率(%)



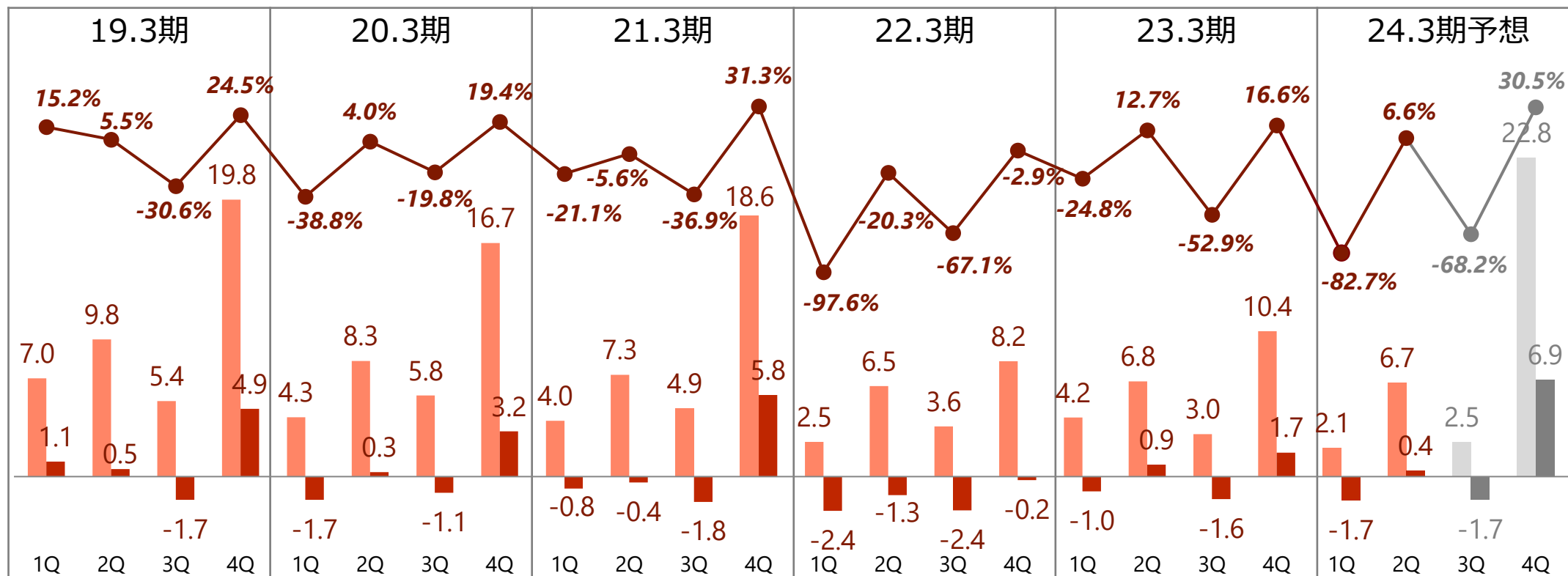
[億円]	19.3期		20.3期		21.3期		22.3期		23.3期		24.3期予想	
	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期
売上高	278	270	254	255	217	261	275	318	330	400	364	366
営業利益	1.6	8.0	1.4	1.4	-1.6	3.3	0.1	5.5	5.1	21.3	13.4	11.6
営業利益率	0.6%	3.0%	0.5%	0.5%	-0.7%	1.3%	0.0%	1.7%	1.5%	5.3%	3.7%	3.2%

電子化学実装: 売上高・損益の四半期推移



情報機器: 売上高・損益の四半期推移

売上高(億円) 営業利益(億円) 営業利益率(%)

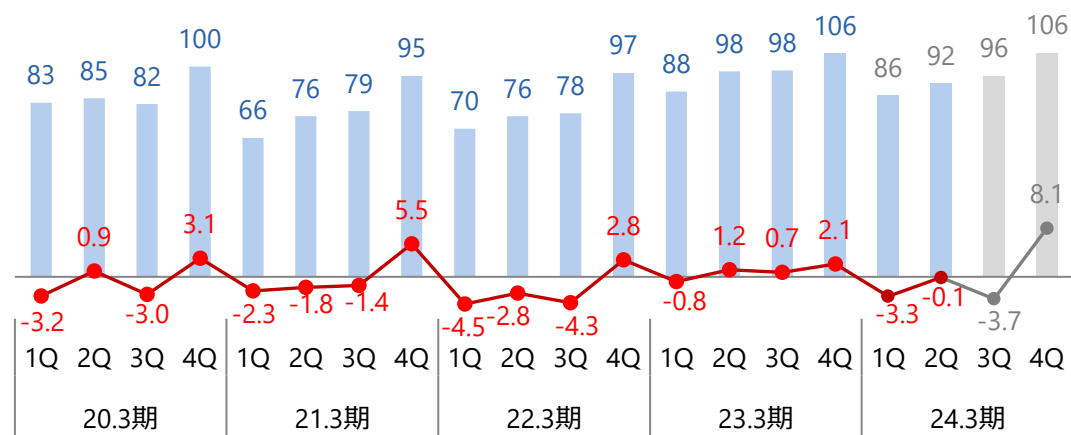


[億円]	19.3期		20.3期		21.3期		22.3期		23.3期		24.3期予想	
	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期
売上高	16.8	25.2	12.5	22.5	11.3	23.5	9.0	11.8	11.0	13.4	8.8	25.2
営業利益	1.6	3.2	-1.3	2.1	-1.2	4.0	-3.7	-2.6	-0.2	0.1	-1.3	5.3
営業利益率	9.6%	12.7%	-10.6%	9.3%	-11.1%	17.2%	-41.8%	-22.4%	-1.6%	0.8%	-14.3%	20.9%

地域別：売上高・利益の四半期推移

■ 売上高(億円) ● 営業利益(億円)

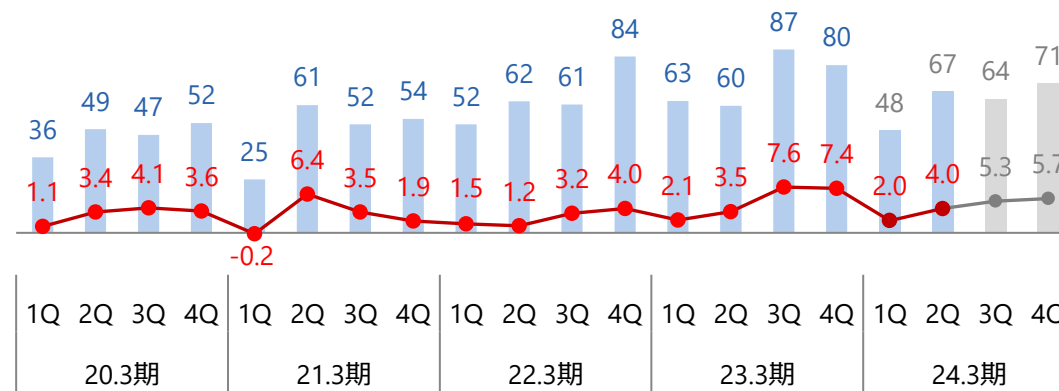
日本



注：日本に連結消去等を含めて表示しています

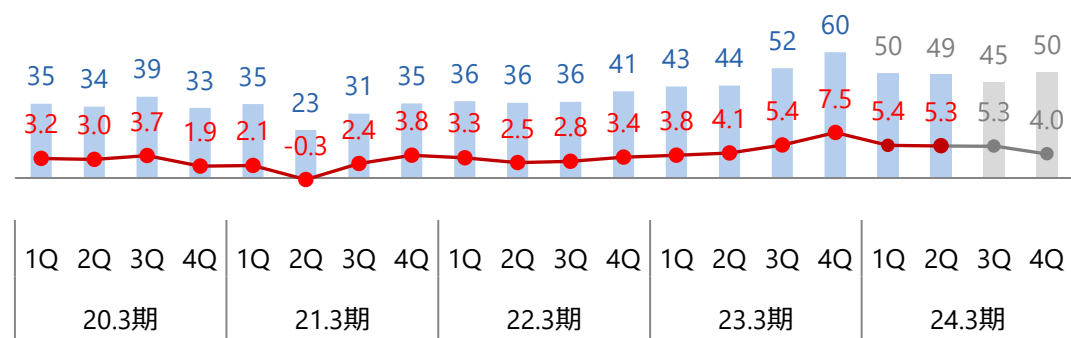
予想

中国



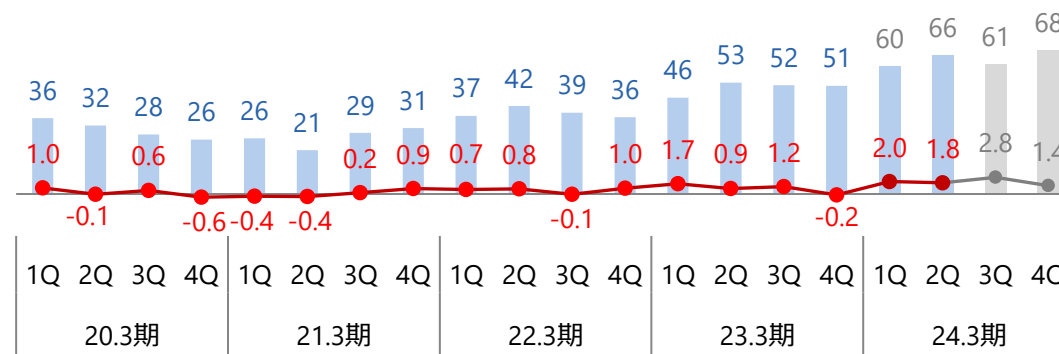
予想

その他アジア



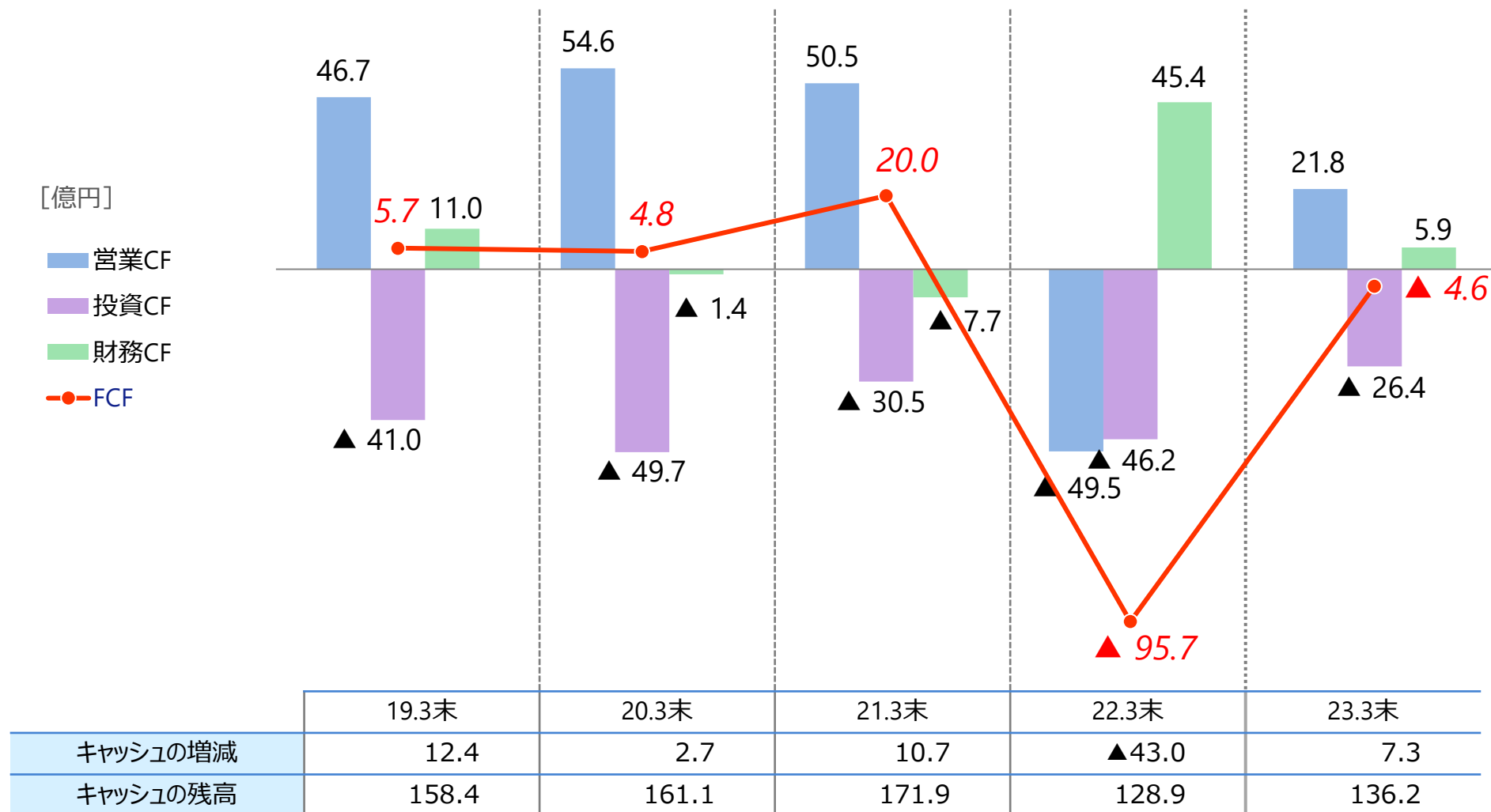
予想

欧米



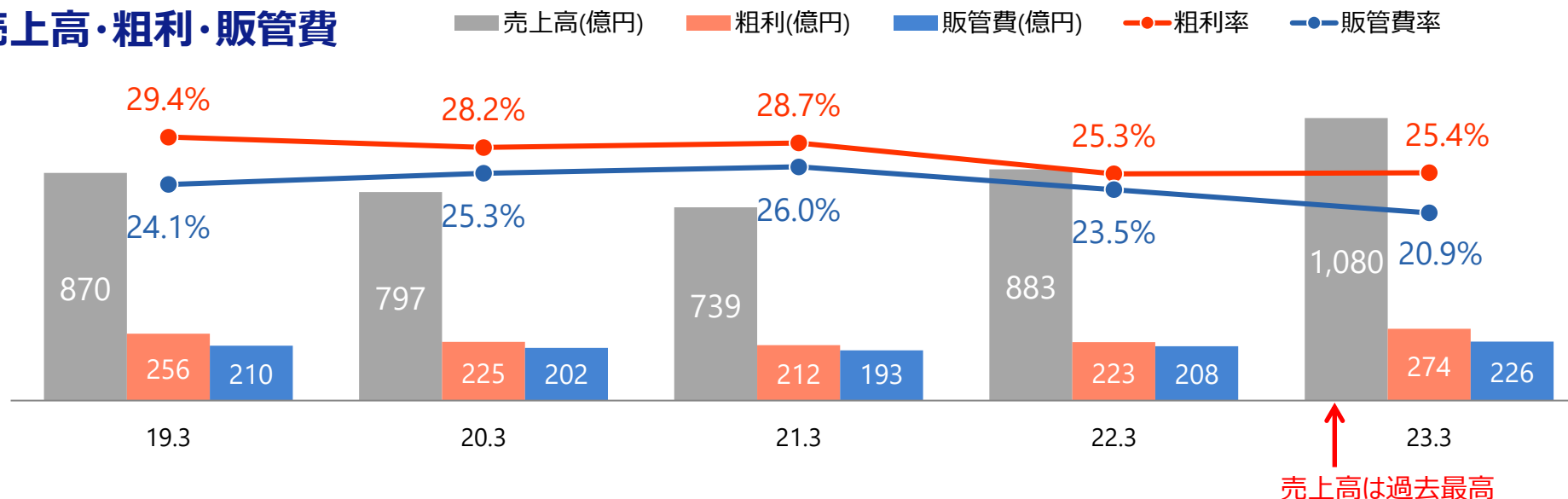
予想

キャッシュ・フロー

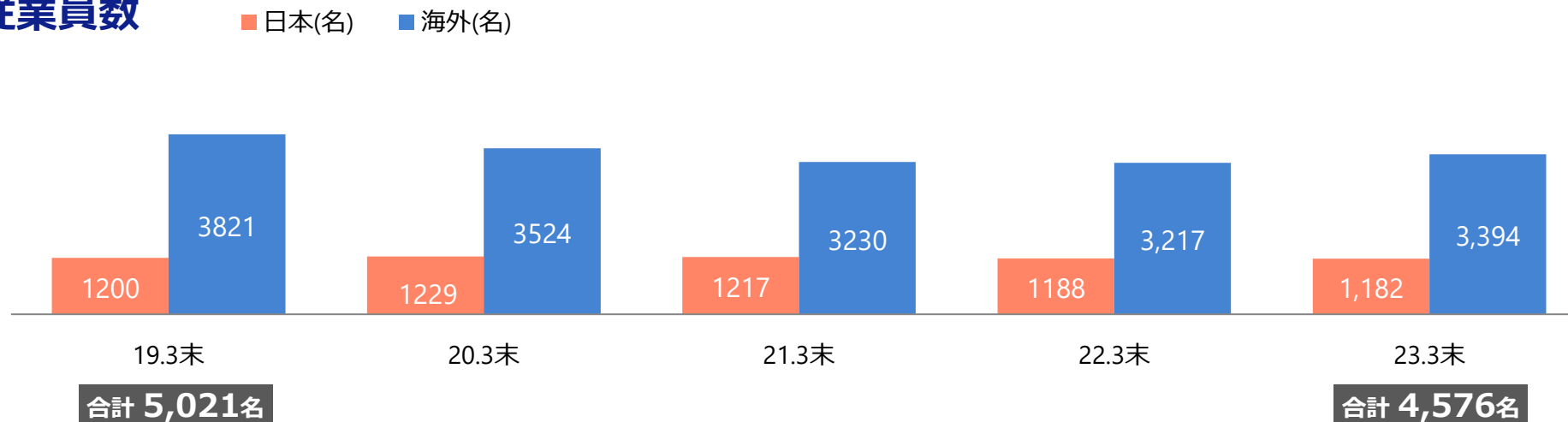


売上高・粗利・販管費・従業員数の推移

売上高・粗利・販管費



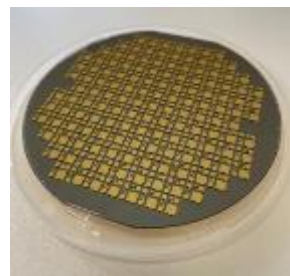
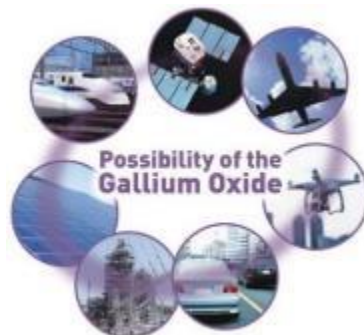
従業員数



カーボンニュートラルへの貢献 ～酸化ガリウムパワー半導体の研究開発

- ◆ タムラ製作所の研究開発部門が独立して設立された株式会社ノベルクリスタルテクノロジー（NCT）は、カーボンニュートラルへの貢献が期待される酸化ガリウムパワー半導体の研究開発を推進しています
- ◆ タムラは、NCTと接合材料や電源機器などの共同開発を進め、中長期的視点で共に成長を目指しています

酸化ガリウムパワー半導体 研究開発



タムラとNCTの取り組み



- 特許技術供与
- 技術支援・販売支援
- 周辺製品・材料のコラボレーション



- 酸化ガリウム基板およびパワーデバイスの製品化・製造販売

- 酸化ガリウム：SiCやGaNを越える高性能とコスト競争力が期待されているパワー半導体
 - 研究開発チーム：NCT、タムラ製作所、情報通信研究機構、東京農工大学を中心とするチームで世界をリード
 - NCT：タムラ製作所の持分法非適用関連会社（出資比率は約40%）。外部資本を積極的に取り込み、独立した経営陣でスピーディーな開発と事業化推進を行うため2015年に設立
- [NCTによる最近の研究開発成果]
- 2022年9月 世界初、酸化ガリウム反転型DI-MOSTランジスタを試作
 - 2022年12月 次世代のパワー半導体β型酸化ガリウムの結晶欠陥イメージング技術を開発
 - 2023年4月 国内初、酸化ガリウムショットキーバリアダイオード搭載の出力電力350 W電流連続型力率改善回路の実機動作確認に成功

タムラの歩みと事業領域

1924年創業

「田村ラヂオ商会」



トランスを極める！



1924年～

ラジオ、蓄音機の製作・販売

接合技術を極める！



1930年～

トランスの自作化

いい音（信号）を極める！

電子部品関連



- 1956年～ 磁性材料
- 1956年～ 電源装置
- 2008年～ LED関連製品
- 2009年～ 車載用リアクタ
- 2010年～ 大型トランス

電子化学実装関連



- 1956年～ フラックス
- 1957年～ リターパースト
- 1961年～ レジストインク
- 1968年～ はんだ付装置
- 2010年～ FPC用レジスト

情報機器関連



- 1961年～ 放送用音声卓
- 1962年～ ワイヤレスマイク
- 1976年～ 伝送監視装置
- 2003年～ デジタル放送設備
- 2015年～ 8K向け音声卓

主要製品

電子部品事業

電子部品事業

2021年度売上高 **593億円**

販売中

自動販売機関連製品
通信機器搭載金額表示器

3D人感センサ
環境可視化センサ

自販機・セキュリティ・IoT関連 7%
ユニット関連 43%

その他 2%

マグネティック関連 48%

リアクタ・コイル
高周波トランス

車載用リアクタ
大型トランス・リアクタ

宇宙トランス・リアクタ

電流センサ
電源モジュール

ゲートドライバモジュール
屋外LED照明用電源
ACアダプタ
小型高圧電源
超音波センサ・振動子

電子化学実装事業

電子化学実装事業

2021年度売上高 **271億円**

実装装置 15%

リフローはんだ付装置
ウェーブはんだ付装置

フラックス関連 8%

フラックス

ソルダーペースト関連 55%

ソルダーペースト
糸はんだ・棒はんだ
ポイントはんだ付材料
高耐熱はんだ

ソルダーレジスト関連 22%

ソルダーレジスト
白色反射材
フレキシブル基板向けソルダーレジスト
写真現像型カバレイコート(フィルム・液状)
黒色吸収材

情報機器事業

情報機器事業

音声調整卓

DECTインターカムシステム

社会・産業・暮らしを支えるタムラのテクノロジー

航空・宇宙で
航空機からロケット・人工衛星まで、究極の耐環境性に社会に貢献しています。

トランス・リアクタ

風力・太陽光発電・インフラで
再生可能エネルギーの発電や直流送電の効率向上などに寄与する部品・材料です。

大型トランス・リアクタ

電流センサ	ゲートドライバモジュール
電源モジュール	導電性接着材
白色反射材	フラックス

駅で
発着案内などの情報伝達手段として、鉄道運行を支えます。

取付ワイヤレスマイクロホン

コンビニや店舗で
店舗サインやショーケースなど、省エネに貢献するLED光源です。

■ 取付LED照明

ショーケース用LED照明

通信基地局で
通信基地局用の基板上に欠かせない材料として、デジタル通信システムを支えています。

ソルダーレジスト

ソルダーペースト

放送局で
視聴者に届ける音声を調整する機器と、局内建物の無線システムです。

音声調整卓

DECT規格インターカム

ポータブルミキサー

エコカーで
高信頼・高効率な部品・材料で、エコドライブや安心・安全を支えます。

車載用リアクタ・コイル

糸はんだ・棒はんだ

高耐熱Pbフリー合金

耐フラックス除去・鳥糞ソルダーペースト

高信頼性ソルダーレジスト

街の自動販売機で
表示や商品選択だけでなく、スマートフォンとの連動など最新機能を実現します。

商品選択ボタン

通信機器搭載量表示器

家庭で
エアコンやパソコンの省エネに寄与する部品、居室内で人の活動状況や快適性を保つセンサーです。

電流センサ

電源モジュール

リアクタ

人感センサ

環境相対センサ

スマートフォンやタブレットPCで
多機能化・小型化する機器の進化を支える材料です。

(0201サイズ部品を指す)

Type 6ソルダーペースト

ポイントはんだ付材料

黒色導電材

低アルファ値ソルダーペースト

PAF

フレキシブル基板向けソルダーレジスト

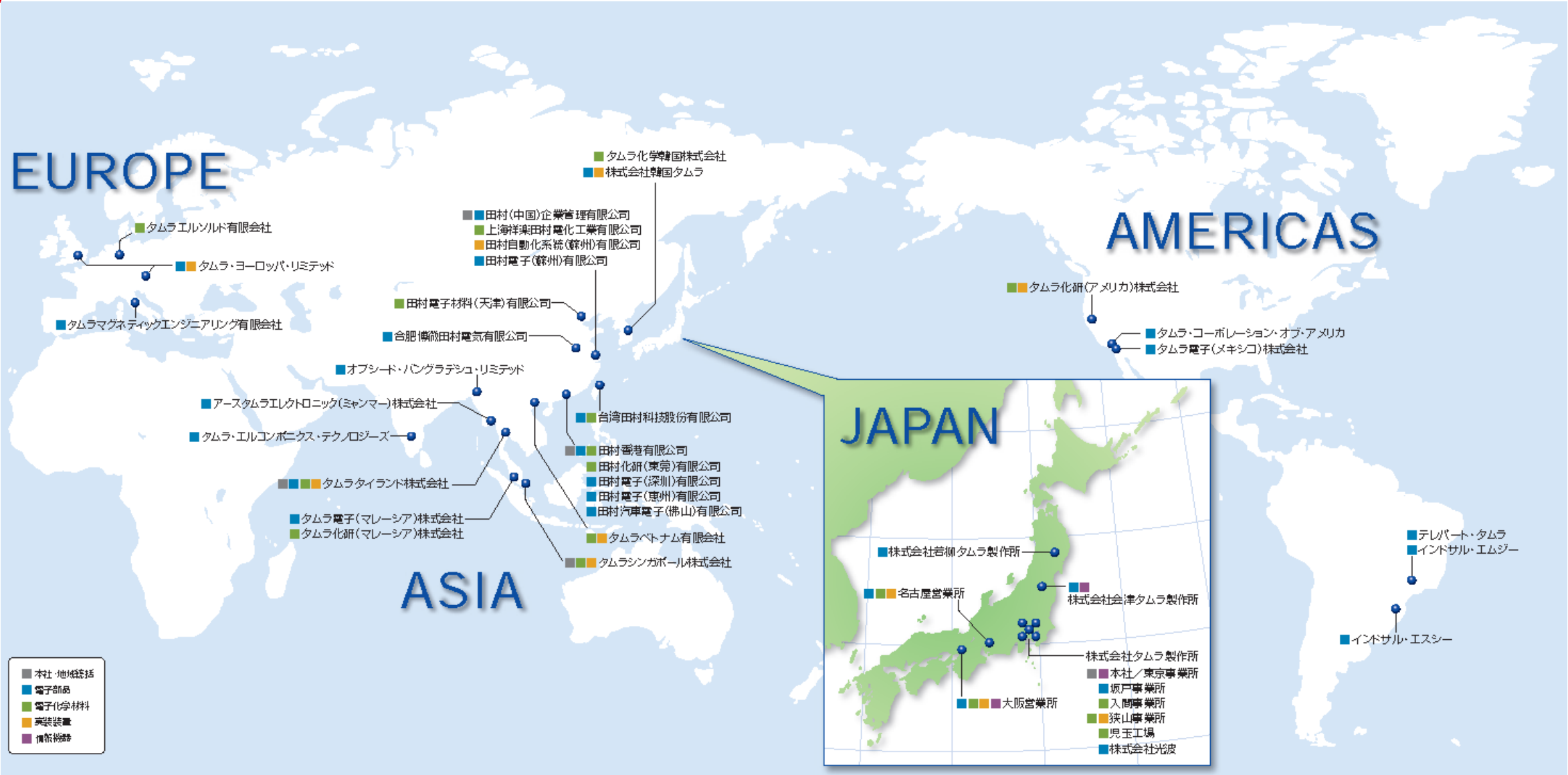
写真現像型カーバイドコート(フィルム・液状)

電子部品関連

電子化学実装関連

情報機器関連

事業拠点



当社からのお願い

本資料の業績予想、見通し及び事業計画については、現時点における将来環境予測等の仮定に基づいております。
本資料において当社の将来の業績を保証するものではありません。

株式会社タムラ製作所
コーポレートコミュニケーション統括部 広報・IRグループ